

# 第82回原状回復対策協議会 次 第

と き：令和3年6月12日（土）

午後2時20分から

と ころ：二戸地区合同庁舎 大会議室

## 1 開会

## 2 あいさつ

## 3 議事

### (1) 報告事項

- ア 原因者等に対する責任追及の状況について . . . . . 資料1
- イ 環境モニタリング結果について . . . . . 資料2
- ウ ワーキンググループの活動状況について . . . . . 資料3  
(普及啓発活動及び跡地利活用の方向性について)

### (2) 協議事項

- ア 第81回協議会・第33回汚染土壌対策技術検討委員会等での  
御意見への対応方針 . . . . . 資料4
- イ 1,4-ジオキサン対策について . . . . . 資料5
- ウ 工作物の解体撤去及び地形整形について . . . . . 資料6

### (3) その他

## 4 その他

## 5 閉会

## 出席者名簿

(委員)

(五十音順)

氏名	所属等	出席	備考
生田 弘子	カシオペア環境研究会顧問	○	
板井 一好	生活習慣病予防研究センター上席研究員	○	オンライン
牛間木 義男	玉木自治振興会会長	-	
齋藤 徳美◎	岩手大学名誉教授	○	
笹尾 俊明	立命館大学経済学部教授	○	オンライン
颯田 尚哉	大同大学工学部教授	○	オンライン
高嶋 裕一	岩手県立大学総合政策学部教授	○	オンライン
中澤 廣	岩手大学名誉教授	○	オンライン
橋本 良二○	岩手大学名誉教授	○	
藤原 淳	二戸市長	○	
山本 晴美	田子町長	○	
山本 わか	田子町県境不法投棄原状回復調査協議会委員	○	
築田 幸	元岩手県環境保健研究センター所長	○	

◎：委員長 ○：副委員長

(オブザーバー)

氏名	所属等	出席	備考
藤田 正実	公益財団法人産業廃棄物処理事業振興財団 適正処理対策部長兼適正処理対策室長	○	オンライン

(事務局)

氏名	所属等
石田 知子	岩手県 企画理事兼環境生活部長
佐々木 健司	〃 環境生活部環境担当技監兼廃棄物特別対策室長
田村 良彦	〃 環境生活部廃棄物特別対策室 特命参事兼再生・整備課長
佐々木 茂治	〃 〃 〃 主任主査
田沼 諭	〃 〃 〃 主査
吉田 敬幸	〃 〃 〃 主任
伊藤 大智	〃 〃 〃 主事
山村 勉	県北広域振興局 副局長
加藤 研史	県北広域振興局 保健福祉環境部二戸保健福祉環境センター 所長
懸田 節	〃 〃 〃 環境衛生課長

## 原因者及び排出事業者等に対する責任追及の状況

## 1 原因者に対する責任追及の状況

## (1) 納付命令

- ・ 代執行に要した費用について、原因者（不法投棄を実行した者）に対し納付命令を发出している。
- ・ 令和2年度は、約3億5千2百万円の納付命令を发出。
- ・ 納付命令の累計額は約234億3千万円である。

年度	納付命令額	備考
H16～R1	23,079,137,097 円 (約230億)	H14～30事業分（原状回復詳細調査、廃棄物処理、土壌汚染対策、汚染水処理等）
R2	352,158,218 円 (約3億5千万)	R1事業分（汚染水処理等）
計	23,431,295,315 円 (約234億)	

(注) 三栄化学工業株式会社とともに、同社元役員や、収集運搬を行った東奥環境株式会社（当時）及び同社役員にも、それぞれの責任の範囲に合わせ、納付命令を行っている。

## (2) 回収状況

- ・ 令和2年度は、約101万円を回収した。
- ・ 回収額累計は約2億6千万円となっている。

年度	回収額	備考
H13	148,522,035 円 (約1億4千8百万)	原因法人の預金から回収（代執行実施の前に、措置命令の一部履行に充当したもの）
H16～R1	111,293,786 円 (約1億1千万)	原因法人及び同法人元役員の預金及び不動産等、並びに原因法人の破産財団から回収
R2	1,013,909 円 (約101万)	原因法人元役員の資産等から回収
計	260,829,730 円 (約2億6千万)	

2 排出事業者に対する責任追及及び自主的措置の状況

- ・排出事業者に対しては、措置命令（現物撤去）・納付命令のほか、自主的な撤去や金銭拠出を指導している。
- ・令和2年度は、1者、約37万円の金銭拠出があった。
- ・排出事業者からの回収の累計は、87者、約6億円となっている。

区 分	事業者数	撤去命令量、納付命令額等		
		命令（申出）量	命令（拠出）額	
措置(納付)命令	26	472 t相当	17,833,200	(約1千7百万) 円相当
自主的な措置(現物撤去・金銭拠出)	61	15,309 t相当	582,461,372	(約5億8千2百万) 円相当
(内R2分)	1	9 t相当	375,783	(約37万) 円相当
計	87	15,781 t相当	600,294,572	(約6億) 円相当

3 合計

- ・原因者及び排出事業者からの回収額合計は、約8億6千万円(令和2年度末現在)。  
 ※特措法対象事業費約255億円(見込み)に対して、約3.4%。

	区 分	金 額		
原因者	措置命令	148,522,035	(約1億4千8百万)	円相当
	納付命令	112,307,695	(約1億1千2百万)	円
原因者 計		260,829,730	(約2億6千万)	円
排出事業者	措置・納付命令	17,833,200	(約1千7百万)	円相当
	自主的な措置 (現物撤去・金銭拠出)	582,461,372	(約5億8千2百万)	円相当
排出事業者 計		600,294,572	(約6億)	円相当
合計		861,124,302	(約8億6千万)	円相当

4 今後の対応

引続き、原因者の差押財産の換価を進めるなど、責任追及を継続していく。

環境モニタリング結果について

二戸保健福祉環境センターでは、不法投棄現場及びその周辺における汚染状況を把握するとともに、周辺地域への影響等を監視するために、平成15年度から環境基準28項目(1,4-ジオキサン、重金属類等)についてモニタリングを継続している。

前回協議会(令和2年12月)以降に判明したモニタリング結果を報告する。

1 1,4-ジオキサンの検出状況

(1) 地下水

- ・イ-24及びイ-6(イ-6-1)地点で環境基準超過しているものの、過去の変動範囲内。
- ・イ-13地点で環境基準超過したが4月には再び基準以下となった。数値は過去の変動範囲内。

表1-1: 地下水における1,4-ジオキサン濃度[mg/L]の測定結果

地区	地点名	H27 超過	H28 超過	H29 超過	H30 超過	R1 超過	R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2.10月	R2.11月	R2.12月	R3.1月	R3.4月	基準値	備考
K	イ-5	無	無	無	無	無	<0.005	0.020	0.009	0.011	0.018	0.011	<0.005	0.012	0.014	0.006	<0.005	0.05	
	イ-24						0.062	0.088	0.006	0.009	0.083	<0.005	0.076	0.086	0.011	0.009	0.007		
N	イ-19	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.006	<0.005	<0.005		
	イ-20 (大口径・北)	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	イ-21 (大口径・南)	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	0.008	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.008	0.01	0.005		
	イ-22	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	イ-8	無	無	無	無	無	<0.005	0.035	0.040	0.037	<0.005	0.025	0.006	0.032	0.028	0.028	0.006		
F	イ-3	無	無	無	無	無	<0.005	0.018	0.005	0.006	0.029	0.028	0.022	0.022	<0.005	<0.005	<0.005		
B	イ-1	無	無	無	無	無	<0.005	0.008	<0.005	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)	(欠測)		
G	イ-4	無	無	無	無	無	0.005	0.006	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
J	イ-6(イ-6-1)					無	0.009	0.18	0.22	0.14	0.20	0.20	0.18	0.20	0.006	0.080	0.19		
	イ-12 (J大型井戸・北)	無	無	無	無	無	0.020	0.030	0.035	0.029	0.032	0.040	0.036	0.034	0.037	0.036	0.005		
	イ-15	無	無	無	無	無	<0.005	0.009	0.019	0.031	0.024	0.027	0.013	0.012	0.011	0.01	0.005		
O	イ-13	無	無	無	無	無	0.007	0.006	0.014	0.031	0.029	0.026	0.024	0.066	0.052	0.058	0.012		
	イ-17 (J大型井戸・南)	無	無	無	無	無	0.034	0.042	0.047	0.079	0.042	0.035	0.029	0.041	0.050	0.050	0.028		
	イ-18	無	無	無	無	無	0.012	0.009	0.014	0.012	0.014	0.014	0.011	0.011	0.010	0.011	0.010		
	南調整池浸出水	無	無	無	無	無	0.007	0.010	0.010	0.016	0.023	0.020	0.018	0.029	0.048	0.043	0.020		
H	イ-9	無	無	無	無	無	0.025	0.023	0.032	0.03	0.026	0.024	0.022	0.023	0.019	0.021	0.019		
	北調整池浸出水	無	無	無	無	無	(欠測)	(欠測)	(欠測)	0.023	0.019	0.009	0.012	0.014	0.013	0.021	0.018		
地区外	イ-11	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	イ-14	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	イ-16	無	無	無	無	無	<0.005	0.007	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		

(2) 周辺表流水

全地点で環境基準に適合。

表1-2: 周辺表流水における1,4-ジオキサン濃度[mg/L]の測定結果

地点	H27 超過	H28 超過	H29 超過	H30 超過	R1 超過	R2.4月	R2.5月	R2.6月	R2.7月	R2.8月	R2.9月	R2.10月	R2.11月	R2.12月	R3.1月	R3.4月	基準値	備考	
公共用水域	直近の沢No.1	無	無	無	無	無	<0.005	0.006	0.007	0.007	0.007	0.005	0.006	0.007	0.010	0.009	0.009	0.05	
	直近の沢No.2	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.005	0.005	<0.005		
	小端川上流	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	小端川下流	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	境沢上流	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	溜池	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
	十文字川支流	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		
調整池	北調整池	無	無	無	無	無	0.006	0.009	0.006	0.009	0.011	0.005	0.010	0.008	0.014	0.015	0.008		
	南調整池	無	無	無	無	無	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005		

※ 基準値超過に着色

## 2 重金属類の検出状況

### (1) 地下水

・J地区イ-12、O地区イ-17及びH地区イ-9地点で総水銀が環境基準超過。

表2-1: 地下水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

地区	地点名	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考
K	イ-5	超過項目なし										
	イ-24	超過項目なし										
N	イ-19	超過項目なし										
	イ-20 (大口径・北)	超過項目なし										
	イ-21 (大口径・南)	超過項目なし										
	イ-22	超過項目なし										
	イ-8	超過項目なし										
	F	イ-3	超過項目なし									
B	イ-1	超過項目なし						(欠測)	(欠測)	(欠測)		
G	イ-4	超過項目なし										
J	イ-6 (イ-6-1)	超過項目なし										
	イ-12 (J大型井戸・北)	総水銀	0.0049	0.0044	0.0035	0.0046	0.0061	0.0028	0.0053	0.0049	0.0005	
	イ-15	超過項目なし										
O	イ-13	超過項目なし										
	イ-17 (J大型井戸・南)	総水銀	<0.0005	0.001	0.0011	0.0006	0.0008	0.0011	0.0007	0.0009	0.0005	
	イ-18	超過項目なし										
	南調整池浸出水	総水銀	0.0006	<0.0005	0.0021	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	0.0005	
H	イ-9	総水銀	0.0038	0.0028	0.0047	0.0008	<0.0005	<0.0005	0.0024	0.0009	0.0005	
	北調整池浸出水	超過項目なし					(欠測)					
地区外	イ-11	超過項目なし										
	イ-14	超過項目なし										
	イ-16	超過項目なし										

### (2) 周辺表流水

環境基準超過項目なし。

表2-2: 周辺表流水における重金属類濃度[mg/L]の測定結果

地点	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考	
公共用水域	直近の沢No.1	超過項目なし										
	直近の沢No.2	超過項目なし										
	小端川上流	超過項目なし										
	小端川下流	超過項目なし										
	境沢上流	超過項目なし										
	溜池	超過項目なし										
	十文字川支流	超過項目なし										
調整池	北調整池	超過項目なし										
	南調整池	超過項目なし										

※ 基準値超過は  に着色

### 3 VOCの検出状況

#### (1) 地下水

環境基準超過項目なし。

表3-1:地下水におけるVOC濃度[mg/L]の測定結果

地区	地点名	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考
K	イ-5	ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.072	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	
		クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
	イ-24	1,2-ジクロロエチレン	0.009	0.019	0.004	0.041	0.024	<0.004	<0.004	0.013	0.04	
		トリクロロエチレン	0.001	0.003	<0.001	0.007	0.004	<0.001	<0.001	0.004	0.01	
		テトラクロロエチレン	0.0021	0.0043	0.0013	0.0071	0.0038	<0.0005	<0.0005	0.0033	0.01	
		クロロエチレン	0.0004	<0.0002	<0.0002	0.003	0.0011	<0.0002	<0.0002	0.002		
N	イ-19	超過項目なし										
	イ-20 (大口径・北)	超過項目なし										
	イ-21 (大口径・南)	超過項目なし										
	イ-22	超過項目なし										
	イ-8	超過項目なし										
F	イ-3	超過項目なし										
B	イ-1	超過項目なし					(欠測)	(欠測)	(欠測)			
G	イ-4	超過項目なし										
J	イ-6 (イ-6-1)	超過項目なし										
	イ-12 (J大型井戸・北)	超過項目なし										
	イ-15	超過項目なし										
O	イ-13	超過項目なし										
	イ-17 (J大型井戸・南)	超過項目なし										
	イ-18	超過項目なし										
	南調整池浸出水	超過項目なし										
H	イ-9	超過項目なし										
	北調整池浸出水	超過項目なし				(欠測)						
地区外	イ-11	超過項目なし										
	イ-14	超過項目なし										
	イ-16	超過項目なし										

#### (2) 周辺表流水

環境基準超過項目なし。

表3-2:周辺表流水におけるVOC濃度[mg/L]の測定結果

地点	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	R3.1月	基準値	備考
公共用水域	直近の沢No.1	超過項目なし										
	直近の沢No.2	超過項目なし										
	小端川上流	超過項目なし										
	小端川下流	超過項目なし										
	境沢上流	超過項目なし										
	溜池	超過項目なし										
	十文字川支流	超過項目なし										
調整池	北調整池	超過項目なし		(欠測)								
	南調整池	超過項目なし										

※ 基準値超過は  に着色

#### 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の検出状況

##### (1) 地下水

4地点(イ-19、イ-12、イ-15及びイ-17)地点で環境基準超過。

表4-1: 地下水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の測定結果(単位mg/L)

地区	地点名	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考
K	イ-5	<1	1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	10	
	イ-24	2	<1	<1	<1	3	<1	<1	<1		
N	イ-19	32	33	26	24	41	30	32	28		
	イ-20 (大口径・北)	<1	<1	2	1	<1	<1	1	<1		
	イ-21 (大口径・南)	8	5	2	1	1	5	1	1		
	イ-22	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
	イ-8	3	10	2	<1	1	1	<1	2		
F	イ-3	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
B	イ-1	<1	<1	2	<1	1	(欠測)	(欠測)	(欠測)		
G	イ-4	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
J	イ-6 (イ-6-1)	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
	イ-12 (J大型井戸・北)	19	16	17	22	17	15	17	15		
	イ-15	18	15	16	1	12	16	10	16		
O	イ-13	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
	イ-17 (J大型井戸・南)	23	20	23	24	23	13	16	18		
	イ-18	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
	南調整池浸出水	15	4	8	12	11	8	11	9		
H	イ-9	1	<1	<1	<1	1	1	1	<1		
	北調整池浸出水	<1	<1	<1	2	(欠測)	<1	<1	<1		
地区外	イ-11	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		
	イ-14	3	1	3	2	2	2	2	2		
	イ-16	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		

##### (2) 周辺表流水

全地点で環境基準に適合。

表4-2: 周辺表流水における硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素濃度の測定結果(単位mg/L)

地点	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考	
公共用水域	直近の沢No.1	9	9	8	9	8	9	9	10		
	直近の沢No.2	2	1	<1	1	1	1	<1		1	
	小端川上流	2	2	<1	2	1	1	1		1	
	小端川下流	<1	<1	<1	<1	<1	<1	<1		<1	
	境沢上流	3	1	1	1	1	1	1		1	
	溜池	/	/	/	/	/	/	/		/	
	十文字川支流	/	/	/	/	/	/	/		/	
調整池	北調整池	1	<1	(欠測)	1	2	4	1	2		
	南調整池	10	4	<1	8	8	<1	2	6		

※ 基準値超過は  に着色



## 5 その他の検出状況

### (1) 地下水

環境基準超過項目なし。

表5-1: 地下水におけるその他項目の測定結果(単位mg/L。ただしダイオキシン類はpg-TEQ/L)

地区	地点名	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考
K	イ-5	超過項目なし										
	イ-24	超過項目なし										
N	イ-19	超過項目なし										
	イ-20 (大口径・北)	超過項目なし										
	イ-21 (大口径・南)	超過項目なし										
	イ-22	超過項目なし										
	イ-8	超過項目なし										
F	イ-3	超過項目なし										
B	イ-1	超過項目なし	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)	(DXN欠測)		
G	イ-4	超過項目なし			(DXN欠測)		(DXN欠測)			(DXN欠測)		
J	イ-6 (イ-6-1)	超過項目なし	(DXN欠測)				(DXN欠測)	(DXN欠測)		(DXN欠測)		
	イ-12 (J大型井戸・北)	超過項目なし										
	イ-15	超過項目なし										
O	イ-13	超過項目なし										
	イ-17 (J大型井戸・南)	超過項目なし										
	イ-18	超過項目なし										
	南調整池浸出水	超過項目なし										
H	イ-9	超過項目なし										
	北調整池浸出水	超過項目なし	(DXN欠測)	(DXN欠測)			(DXN欠測)					
地区外	イ-11	超過項目なし										
	イ-14	超過項目なし										
	イ-16	超過項目なし										

### (2) 周辺表流水

環境基準超過項目なし。

表5-2: 周辺表流水におけるその他項目の測定結果(単位mg/L。ただしダイオキシン類はpg-TEQ/L)

地点	測定項目	R1.5月	R1.7月	R1.9月	R1.11月	R2.5月	R2.7月	R2.9月	R2.11月	基準値	備考
公共用水域	直近の沢No.1	超過項目なし									
	直近の沢No.2	超過項目なし									
	小端川上流	超過項目なし									
	小端川下流	超過項目なし									
	境沢上流	超過項目なし									
	溜池	超過項目なし									
	十文字川支流	超過項目なし									
調整池	北調整池	超過項目なし		(欠測)							
	南調整池	超過項目なし									

※ 基準値超過は  に着色

## 6 底質の各物質の検出状況

底質については、全て環境基準に適合(R2年8月実施)

分析項目	直近の沢田.1	直近の沢田.2	小端川田流	境沢上流	北調整池	南調整池	基準値	備考
1 カドミウム	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	
2 全シアン	ND ( <0.1 )	ND ( <0.1 )	ND ( <0.1 )	ND ( <0.1 )	ND ( <0.1 )	ND ( <0.1 )		検出されないこと
3 有機燐	ND ( <1 )	ND ( <1 )	ND ( <1 )	ND ( <1 )	ND ( <1 )	ND ( <1 )		検出されないこと
4 鉛	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.01	
5 六価クロム	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	<0.02	0.05	
6 ひ素	0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.001	0.001	0.01	
7 総水銀	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.0005	
8 アルキル水銀	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )		検出されないこと
9 PCB	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )	ND ( <0.0005 )		検出されないこと
10 ジクロロメタン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	
11 四塩化炭素	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
12 1, 2-ジクロロエタン	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	<0.0004	0.004	
13 1, 1-ジクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.1	
14 シス-1, 2-ジクロロエチレン	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	0.04	
15 1, 1, 1-トリクロロエタン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	1	
16 1, 1, 2-トリクロロエタン	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	
17 トリクロロエチレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.03	
18 テトラクロロエチレン	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	0.01	
19 1, 3-ジクロロプロペン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.002	
20 チウラム	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	0.006	
21 シマジン	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	0.003	
22 チオベンカルブ	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.02	
23 ベンゼン	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	0.01	
24 セレン	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	0.01	
25 ふっ素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.8	
26 ほう素	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.1	1	
27 クロロエチレン	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	0.0004	<0.0002	0.002	
28 1, 4-ジオキサン	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.05	
29 ダイオキシン類(pg-TEQ/g)	0.21	0.13	0.18	0.31	1.7	18	150	
30 熱灼減量(%-dry)	6.1	2.2	3.3	4.4	6.9	8.7	—	

備考1) ダイオキシン類は、水底の底質における環境基準を比較対象とする。

備考2) 単位は特に記載がない限り、mg/L

## I 普及啓発活動の実施について

二戸保健福祉環境センターでは、県境不法投棄事案の伝承を目的に、管内環境活動団体と協働で事業を実施している。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を考慮し事業を中止したが、令和3年度は、感染対策を取ったうえで再開を予定している。

### 1 高校生を対象とする出前授業

地球環境や自然保護などに興味が増す高校生を対象として、事案を担当した元県職員や原状回復対策協議会の地元委員などを講師として派遣し、事案の発生や対応の経緯等について出前授業を行う。

平成30年度、令和元年度に引き続き二戸市内の高校を対象とし、新型コロナウイルス感染症の状況に配慮したうえで、学校と調整し開催する。

(参考) 出前授業開催実績

開催年月日	対象校	受講者数	内容
平成30年9月19日(水)	福岡高等学校 1年生	158名	DVD視聴、 県職員OBから の講義(計50 分)
平成30年10月18日(木)	福岡高等学校 定時制	21名	
令和元年6月7日(金)	福岡高等学校 1年生	145名	
令和元年9月25日(水)	福岡工業高等学校 1年生	44名	

### 2 高校生による環境保全に係る学習発表会

県境不法投棄事案の出前授業を受けた高校生に、住みよい環境を未来につないでいくための方策を考えて発表してもらおう。発表方法等については事業委託団体、高校と調整のうえ決定する。

### 3 環境フェスティバルの開催

親子を対象として家庭で環境保全について対話をするきっかけとなるイベントを開催する。内容としては、環境に関する講演会のほか、地域の環境活動の紹介、体験学習、子供が描いたエコキャラクターの絵のコンテスト及び作品展などを事業委託団体と協議し決定する。会場内に県境不法投棄事案についての展示スペースを設け、来場者に周知することを予定している。

## Ⅱ 跡地利活用について

### 1 跡地利活用の方向性

・県境産廃跡地の利活用に当たっては、**現場土地の負のイメージを払拭し、安心感を醸成することが必要**です。

・いわて県民計画(2019～2028)では、一人ひとりの幸福を守り育てる取組を展開していくため、「新しい時代を切り拓く11のプロジェクト」を掲げ、岩手らしさを生かした新たな価値・サービスの創造などの先導的な取組を進めていくこととしています。

・同プロジェクトのうちのひとつ「水素利活用推進プロジェクト」では、岩手県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現を目指しています。



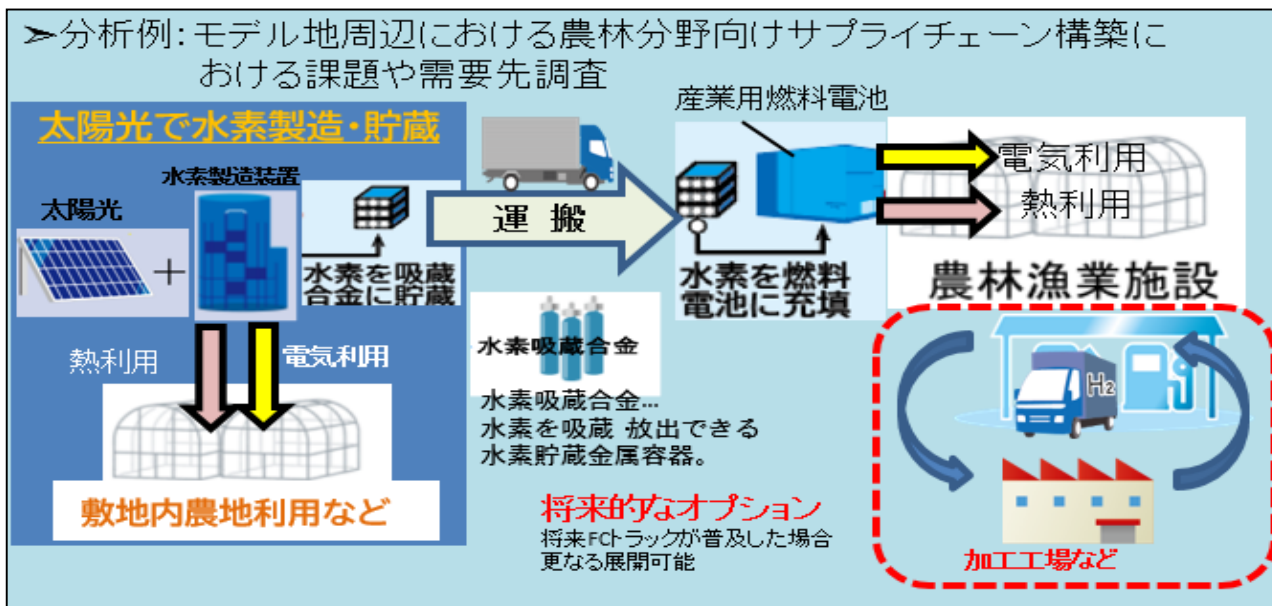
・そこで、新たに、**県境産廃跡地をモデル地**として、**水素関連産業の可能性調査**を行う等、現場の価値を高める取組を進めていきます。(太陽光発電設備を設置し水素製造することを想定。農林水産分野(園芸施設や畜舎など)での将来的な利活用を図るもの。)

・水素関連産業の可能性調査の結果、水素関連産業の立地可能性があれば、立地事業者を県として探していきます。

事業計画	R3	R4～R6	以降
再エネ水素の利活用推進	可能性調査	【取組モデル例】プレイヤー(需要先、導入者等)探し	導入を図る



### 2 跡地利活用の今後の取組み



#### 【地域振興】

水素の利活用に取り組むことにより、水素の製造や貯蔵、運搬、利活用に付随する新たなビジネスが創出されることから、こうした水素関連ビジネスに地元の事業者が参入することにより、産業振興や雇用創出など、地域経済の活性化につながるものと期待されます。



#### 【地元自治体・地域との連携】

事業の導入、利活用の推進に当たっては、貯蔵、運搬等の事業計画等が必要になりますが、計画に当たっては、民間事業者のほか、地元自治体等の地域と連携した実施体制の構築が必要となります。

第81回協議会(R2.12.19)・第33回汚染土壌対策技術検討委員会(R3.5.24)等での主な意見

資料4

1 1,4-ジオキサン対策

No	第81回協議会(R2.12.19)	第33回土壌委員会(R3.5.24)	対応方針
1	<p>【齋藤委員長】 これまで実施した3か所の薬剤処理の効果のデータ解析について、来年度6月の協議会でどの程度の実績が出てくるか期待する。</p>	<p>【事務局】 令和2年5月に薬剤処理工を実施してから1年経過したが、環境基準を下回っている状態が継続している。</p>	<p>同左 《参考資料1参照》</p>
2		<p>【築田委員】 年数回程度、環境基準を超過する地点について、今後どのように対応するのか。</p>	<p>現時点で確認されている地点について、令和3年度中に、可能な限り薬剤処理工等を行う。《資料5 1ページ参照》  状況によっては、令和4年度施工となる可能性もあり、モニタリング期間(1年間)が取れなくなるため、その取り扱いについては汚染土壌対策技術検討委員会(以下「土壌委員会」という。)及び協議会に諮る。</p>
3		<p>【事務局:主な提案事項】 環境基準超過地点等に対して、追加対策工を行いたい。 【江種委員】 追加対策工選定井戸の地下水流向上流側に、環境基準値超過のおそれがある井戸が存在しているので、それらの井戸への対応に留意しながら対策を進めていただきたい。</p>	<p>対策工の周辺、上流井戸及び基準超過のおそれがある井戸の状況を考慮したうえで、工事設計を行う。  《資料5 1ページ参照》</p>
4		<p>【事務局:主な提案事項】 浄化終了後の水質モニタリングについて、周辺の河川、南北調整池及び事業場東側の代表井戸において、水質検査(pH、ジオキサン)を行う方針としたい。 なお、代表井戸の詳細は、次回の土壌委員会で提案する。</p>	<p>同左 《資料5 6ページ参照》</p>

2 工作物の解体撤去・地形整形関係

No	第81回協議会 (R2.12.19)	第33回土壌委員会 (R3.5.24)	対応方針
1	<p>【板井委員】 本県側の地下水は、鋼矢板に沿って流れている。その対策はどうなっているか。</p>	<p>【事務局:主な提案事項】 本県側の地下水により青森県側の浄化に支障が生じないよう、鋼矢板を残置したい。鋼矢板沿いの表流水は南側調整池に導水したい。</p> <p>【中澤委員】 表流水だけでなく、地下水も東側に流下させるという話があったと思うが、地下水に対する手当ては？</p> <p>【川本委員長】 表流水をU字溝で導水することについて、土砂が溜まらないように措置することは可能か。</p>	<p>・地下水について、表流水導水のためのU字溝敷設計と並行して検討する。</p> <p>・U字溝における土砂対策について詳細設計中。次回土壌委員会・協議会で説明したい。</p> <p>・青森県と調整しながら、詳細設計を進める。</p> <p>《資料6 3及び4ページ参照》</p>
2	<p>【齋藤委員長】 鋼矢板を挟んで、両県に土地の高低差があるが、どう対応するか。</p>	<p>【事務局:主な提案事項】 鋼矢板の地上露出部は、原則切断する。 鋼矢板周辺の土地整形については、表流水の導水方法と並行して検討したい。</p>	<p>・鋼矢板地上露出部の切断イメージについて説明。</p> <p>・表流水の導水方法や地形整形等について詳細設計を行い、次回土壌委員会・協議会で説明したい。</p> <p>・青森県と調整しながら、詳細設計を進める。</p> <p>《資料6 4ページ参照》</p>
3	<p>【齋藤委員長】 場内にある仮設工作物の残置については、事務局から仕分けの提案がされて、議論し最終方針とすることが必要。</p>	<p>【事務局:主な提案事項】 鋼矢板、建物下の基礎杭等を残置したい。</p>	<p>同左</p> <p>《資料6 4ページ参照》</p>

3 跡地利活用関係

No	第81回協議会(R2.12.19)	第13回ワーキング(R3.5.20)	対応方針
1	<p>【齋藤委員長ほか】 跡地利活用に関わる県としての姿勢が明確でない。</p>	<p>【事務局:主な提案事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第12回ワーキングでは、不動産鑑定士の方から、再生可能エネルギー関係が利活用の候補である旨、提言がされている。</li> <li>・いわて県民計画(2019～2028)では、再生可能エネルギー由来の水素を多様なエネルギー源の一つとして利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会の実現を目指すとしている。</li> <li>・利活用に当たっては、現場土地の負のイメージを払拭し、安心感を醸成することが必要。</li> <li>・そこで、新たに、<b>県境産廃跡地をモデル地として、水素関連産業の可能性調査を行う等、現場の価値を高める取組を進めていく。</b>(太陽光発電設備を設置し水素製造することを想定。農林水産分野(園芸施設や畜舎など)での将来的な利活用の可能性を検討していく。)</li> </ul> <p>→ 賛同の旨意見が出された。</p>	<p>同左</p> <p>《資料3 2ページ参照》</p>

## 1, 4-ジオキサン対策について

### 1 浄化進捗状況（令和3年4月速報値）

- 各地点の1, 4-ジオキサン濃度は参考資料1（区域別グラフ）及び参考資料2（1, 4-ジオキサン一覧表）のとおり

（令和元年11月から令和3年4月まで1年6か月分の測定結果を記載）

- 1, 4-ジオキサンの浄化終了判断基準に基づき判断した浄化進捗状況を、表1及び表2に示す。

表1 浄化進捗状況（令和3年4月速報値）

区域	A 環境基準 超過	B 浄化継続 期間	C モニタリング 期間	D 浄化終了	合計
①	2 (25%)	1 (13%)	5 (63%)	0 (0%)	8 (100%)
②	3 (20%)	2 (13%)	8 (53%)	2 (13%)	15 (100%)
③	0 (0%)	0 (0%)	6 (50%)	6 (50%)	12 (100%)
④	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	2 (100%)
⑤	1 (8%)	3 (25%)	3 (25%)	5 (42%)	12 (100%)
⑥	0 (0%)	0 (0%)	4 (57%)	3 (43%)	7 (100%)
⑦	0 (0%)	1 (8%)	7 (54%)	5 (38%)	13 (100%)
⑧	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)	4 (100%)
⑨	3 (30%)	1 (10%)	3 (30%)	3 (30%)	10 (100%)
合計	9 (11%)	8 (10%)	39 (47%)	27 (33%)	83 (100%)

表2 令和2年10月→令和3年4月の変動

区分	令和2年10月時点	令和3年4月時点
A 環境基準超過	11 (13%)	9 (11%)
B 浄化継続期間	22 (27%)	8 (10%)
C モニタリング期間	23 (28%)	39 (47%)
D 浄化終了	27 (33%)	27 (33%)
合計	83 (100%)	83 (100%)

### 2 令和3年度に対策を行う箇所

- 薬剤処理工対策中の地点及び今年度中に追加対策工を設計する地点の一覧を表3に示す。
- 追加対策工事の実施について汚染土壌対策技術検討委員会に諮り、ご承認いただいた。

表3 本年度の薬剤処理工井戸の状況

前回報告済み

分類	井戸名	区域	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	平均値	基準超過回数
対策中	A B-4	1	0.17	0.16	0.24	0.23	0.22	0.27	0.25	0.26	0.25	0.26	0.11	0.10	0.21	12
	A ア-25-2	1	0.035	0.061	0.052	0.068	0.066	0.063	0.063	0.093	0.099	0.11	0.13	0.064	0.075	11
	A H30D-1	2	0.11	0.10	0.092	0.067	0.058	0.079	0.082	0.057	0.047	0.056	0.046	0.096	0.074	10
	A イ-6-1	5	0.18	0.22	0.14	0.20	0.20	0.18	0.20	0.006	0.08	-	0.17	0.19	0.16	10
	A H29A-1	9	0.20	0.25	0.27	0.20	0.28	0.23	0.29	0.28	0.27	0.32	0.29	0.26	0.26	12
追加対策設計中	A H30A-5	9	0.11	0.003	0.008	0.005	0.008	0.005	0.039	0.045	0.10	0.083	0.078	0.13	0.051	5
	A 1号集水井	2	0.068	0.030	0.092	0.057	0.058	0.061	0.057	0.043	0.045	0.051	0.050	0.058	0.056	8
	B イ-24	2	0.088	0.006	0.009	0.083	0.003	0.076	0.086	0.011	0.009	0.096	0.095	0.007	0.047	6
	A H30D-4	2	0.040	0.029	0.035	0.054	0.058	0.056	0.039	0.003	0.013	0.042	0.026	0.053	0.037	4
	A H30A-1	9	0.053	0.052	0.012	0.039	0.003	0.007	0.028	0.015	0.062	0.020	0.022	0.055	0.031	4
	B ヨ-15	7	0.050	0.005	0.003	0.003	0.037	0.046	0.068	0.072	0.079	0.096	0.010	0.018	0.041	4
	B イ-13	5	0.006	0.014	0.031	0.029	0.026	0.024	0.066	0.052	0.058	-	0.038	0.012	0.032	3
	B H30F-2	2	0.058	0.063	0.037	0.010	0.022	0.047	0.045	0.043	0.061	0.050	0.048	0.046	0.044	3

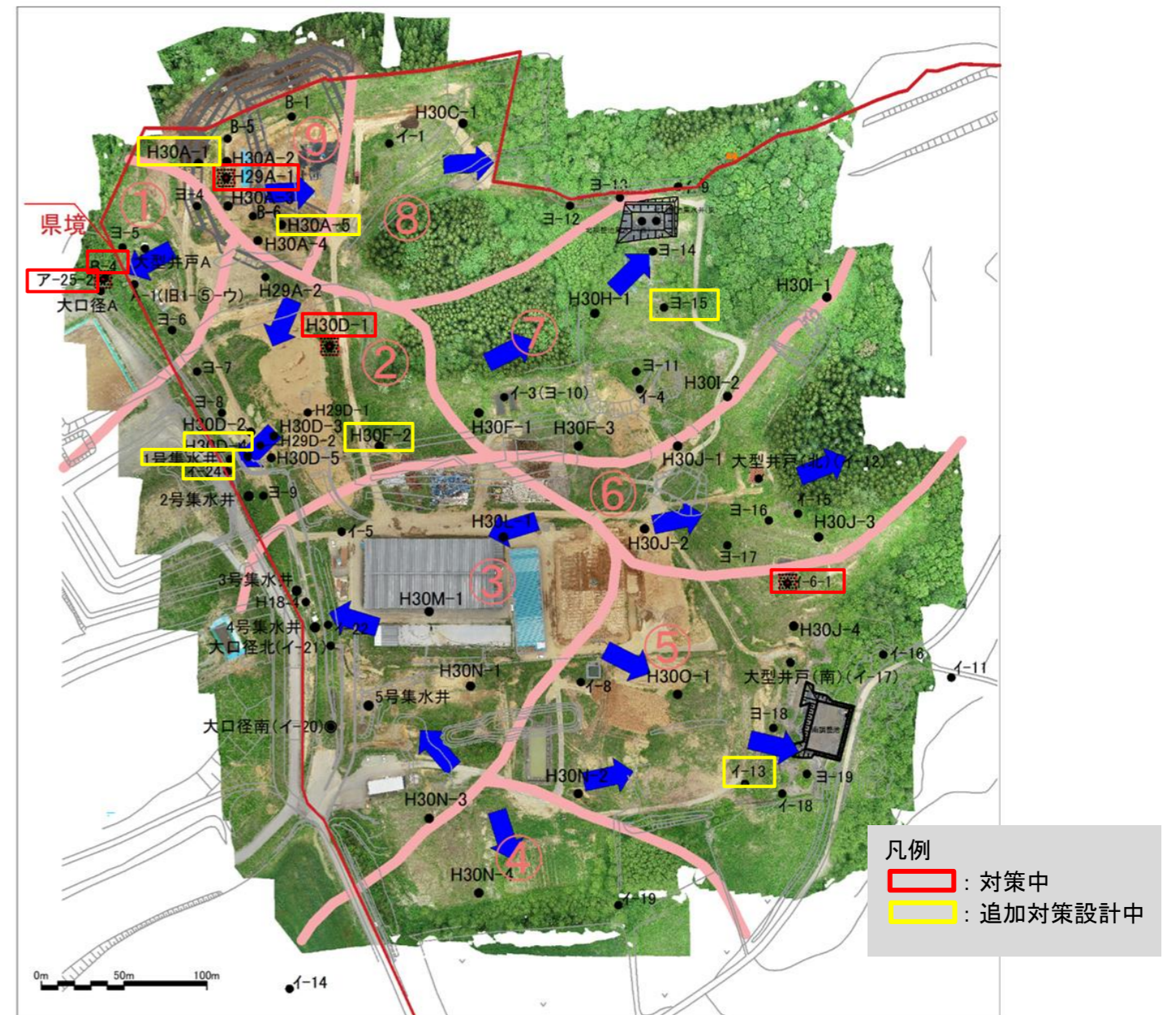


図1 本年度の薬剤処理工井戸の配置



3 令和3年度の対策工事

(1) 区域① 大口径A周辺 (B-4、ア-25-2) (前回協議会で承認済み)

令和元年12月からライナープレート内に注水管を設置することで地下水涵養を促進し、また、A-1については令和2年7月から揚水井戸増設工を実施した。

- 地下水涵養の結果、大口径A、ヨ-5、A-1ではジオキサン濃度が低下したが、B-4及びア-25-2では濃度低下が見られなかった。
- B-4及びア-25-2は地下水涵養の影響を受けにくく、水が停滞していると考えられることから、薬剤処理工を実施する。

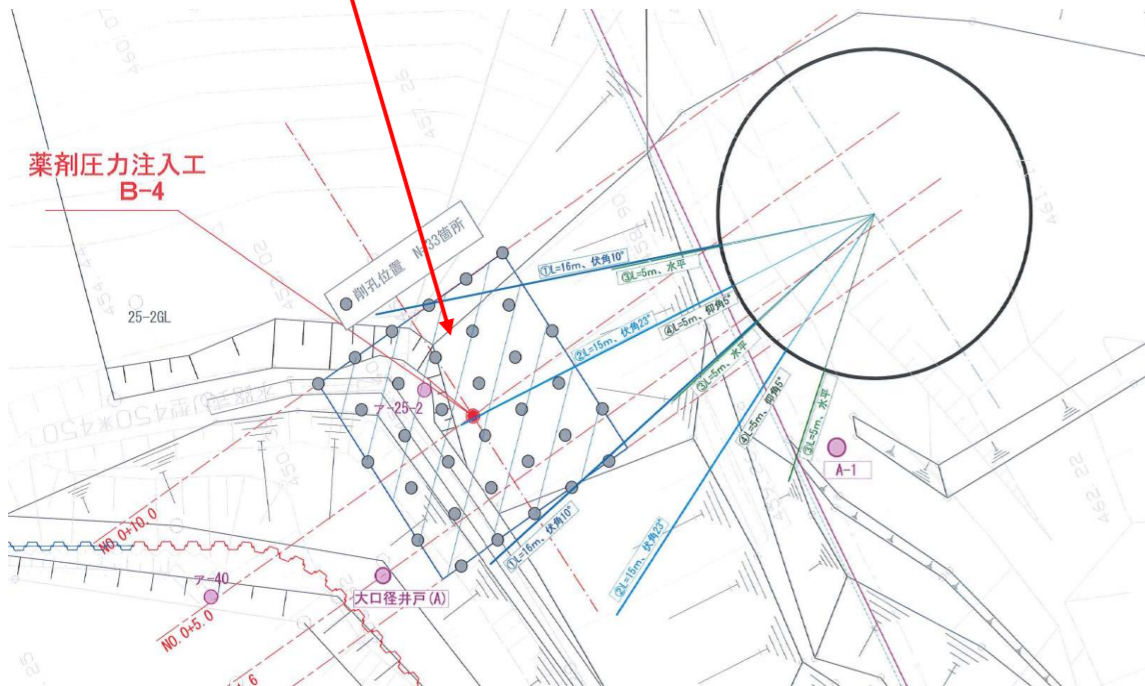
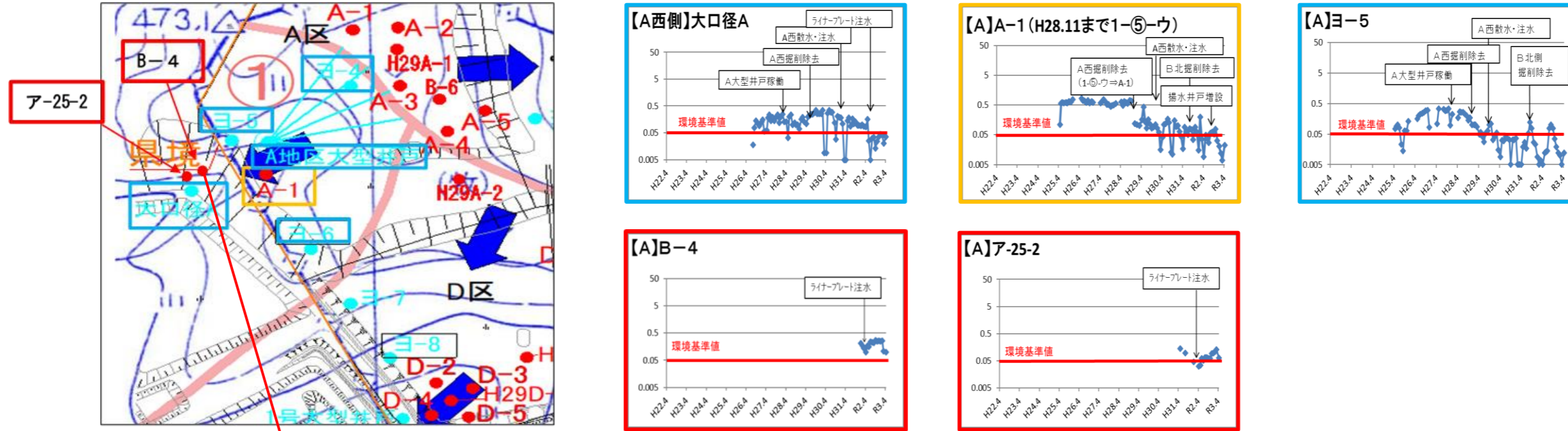


図2 B-4周辺及び施工平面図



図3 B-4周辺 現況

(2) 区域② H30D-1 (前回協議会で承認済み)

区域	井戸名	R 3. 4 測定値	現状	今後の方針
②	H30D-1	0.096	平成30年の井戸設置以降、環境基準超過が継続	薬剤処理工実施

- 継続して環境基準超過していることから、薬剤処理工を実施する。

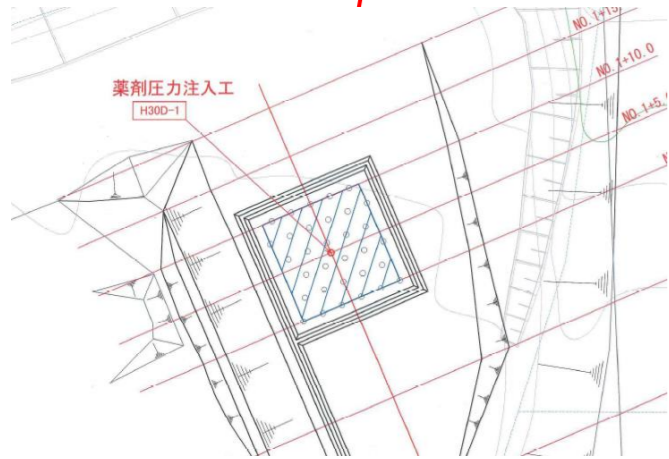
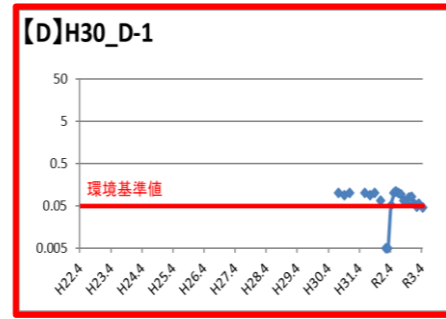
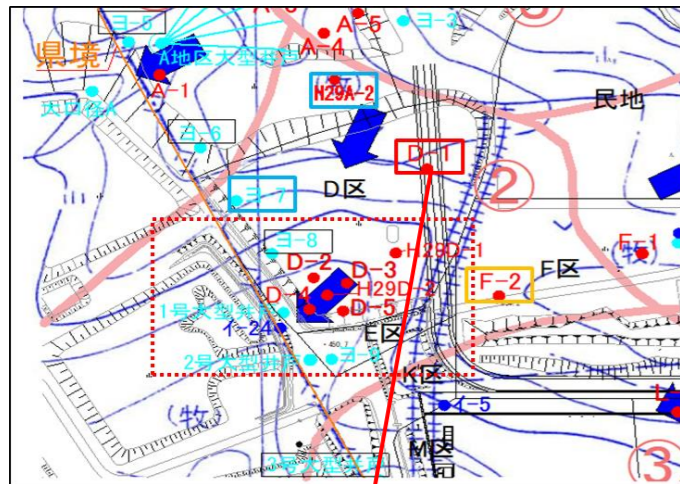


図4 H30D-1 周辺及び施工平面図

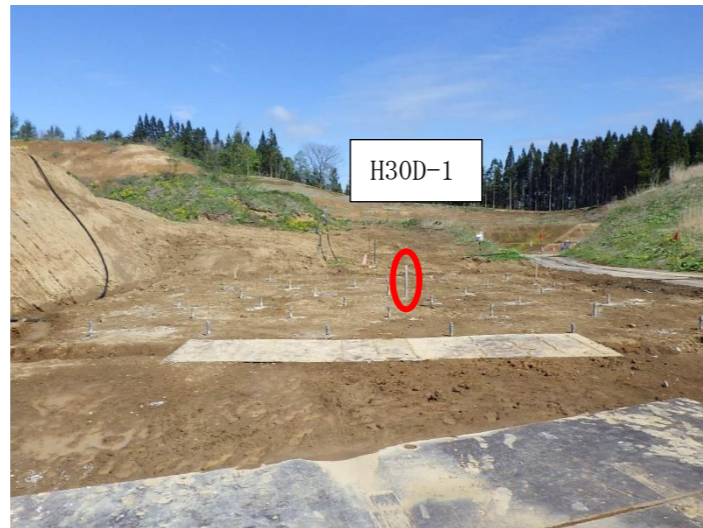


図5 H30D-1 周辺 現況

(3) 区域⑤ イー6-1 (前回協議会で承認済み)

区域	井戸名	R 3. 4 測定値	現状	今後の方針
⑤	イー6-1	0.19	比較的高濃度で推移している	薬剤処理工実施

- 令和2年5月以降、環境基準超過が継続していたことから、令和3年5月から薬剤処理工を実施している。

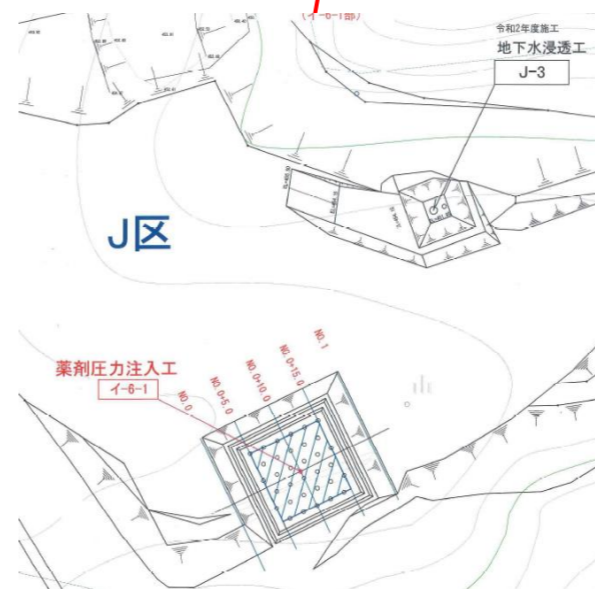
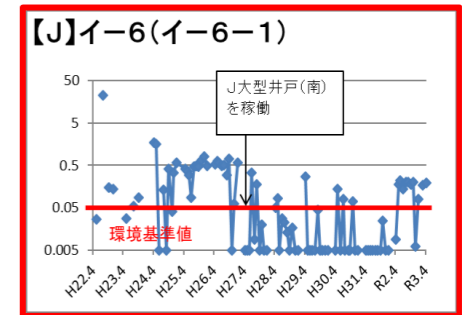
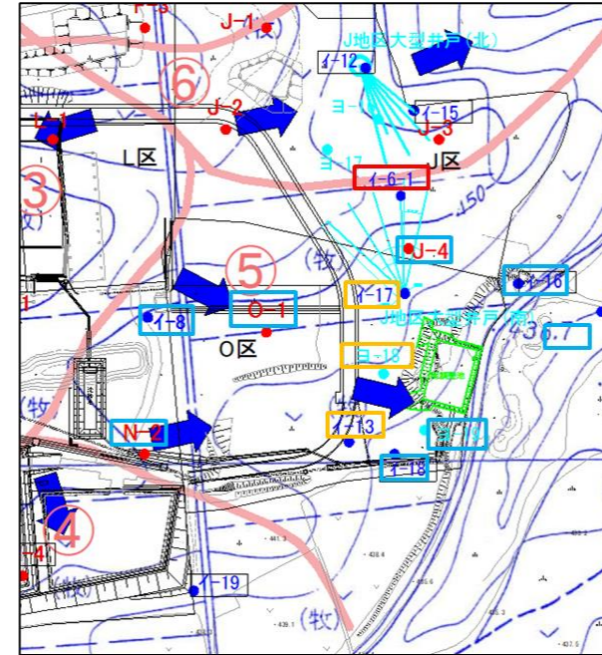


図6 イー6-1 周辺及び施工平面図

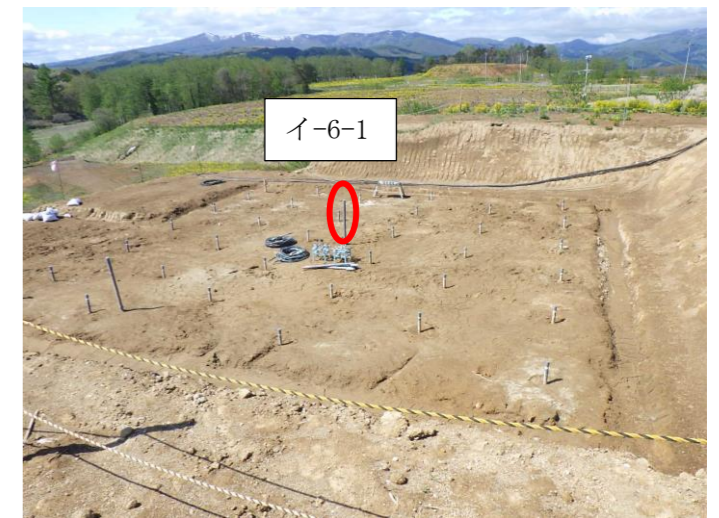
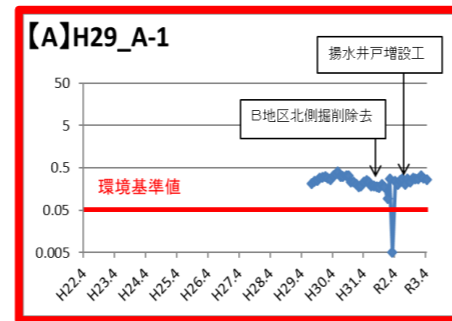
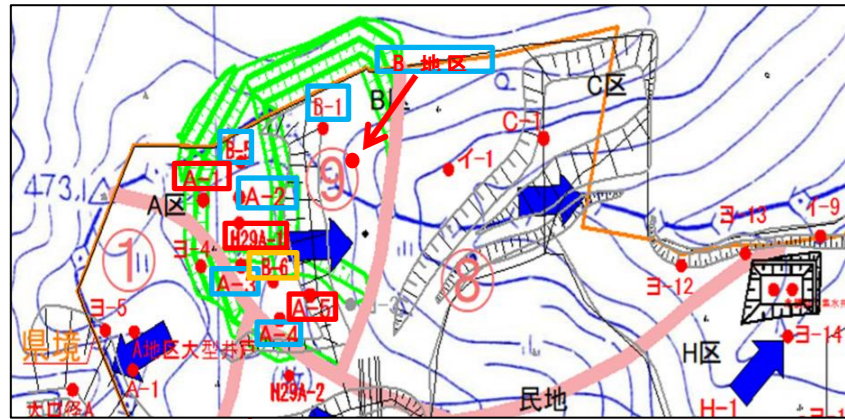


図7 イー6-1 周辺 現況

(4) 区域⑨ H29A-1 (前回協議会で承認済み)

区域	井戸名	R 3.4 測定値	現状	今後の方針
⑨	H29A-1	0.26	<ul style="list-style-type: none"> <li>揚水井戸を令和2年7月に増設(従前は観測井戸)</li> <li>揚水量が想定よりも少ない</li> </ul>	薬剤処理工実施

- H29A-1は比較的透水性が良かったため、令和2年7月に揚水井戸増設工を実施し、揚水を開始した。
- しかしながら、分水嶺のほぼ真上にあるためか、揚水量がほとんどなかったため、薬剤処理工を実施する。



(5) 区域⑨ H30A-5 (今年度、追加対策を要する箇所)

区域	井戸名	R 3.4 測定値	現状	今後の方針
⑨	H30A-5	0.13	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成30年の井戸設置以降、環境基準超過が散見される。</li> </ul>	薬剤処理工実施

- 原則、薬剤処理工を実施することとし、施工方法を設計中である。

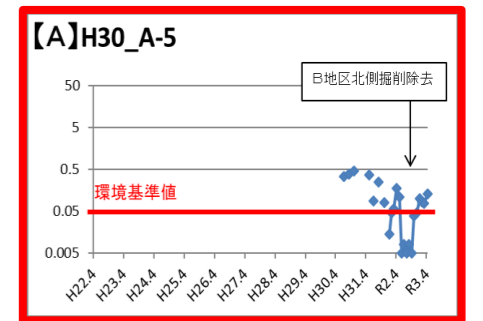
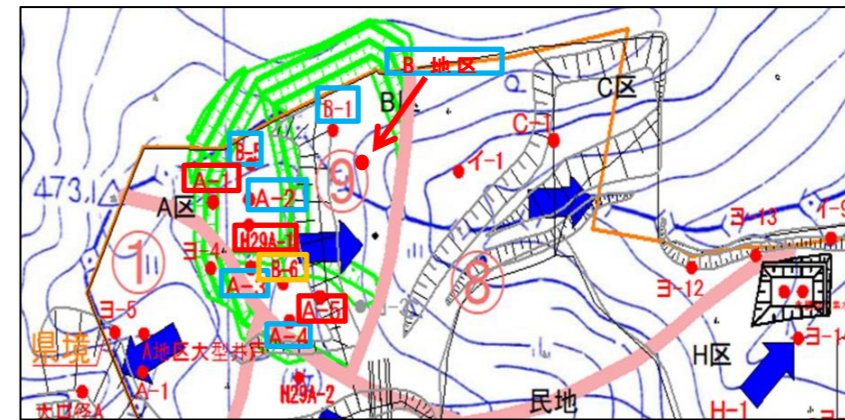


図8 H29A-1周辺及び施工平面図



図9 H29A-1周辺 現況

(6) 区域② イ-24、1号集水井（今年度、追加対策を要する箇所）

区域	井戸名	R 3.4 測定値	現状	今後の方針
②	イ-24	0.007 R3.3:0.095	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従前から揚水を継続してきたが、環境基準継続。</li> <li>・旧地形の沢筋にあり、地下水が集まりやすい構造になっている。 →薬剤注入工の場合、薬剤拡散のおそれ</li> <li>・鋼矢板に隣接している。 →鋼矢板が倒れないような施工方法が必要であり、工法が限定される。</li> <li>・両井戸の距離は約7mと近接している。 →一括して対策する。</li> </ul>	イ-24 及び 1号集水井を含む対象範囲を掘削除去することを検討する。
	1号集水井	0.058		

- ・ イ-24 及び 1号集水井の状況から、現在主に実施している薬剤処理工では浄化の効果が薄いと考えられる。
- ・ 浄化の確実性を考慮すると、対象範囲を矢板で囲み、その内部を掘削除去することが有効。

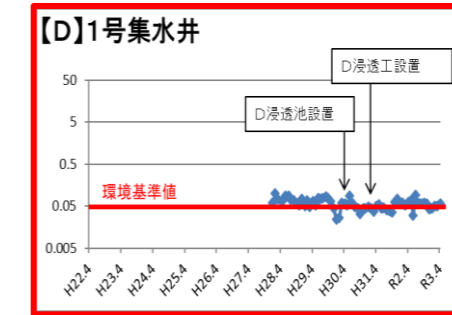
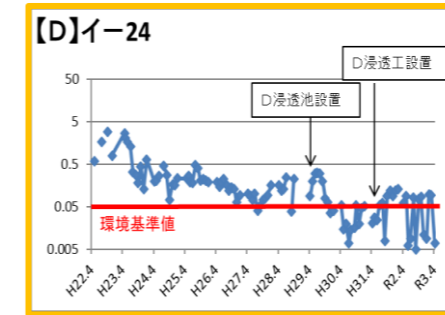


図10 イ-24 及び 1号集水井周辺 現況

- (7) その他汚染が懸念される井戸 (H30D-4、H30A-1、ヨ-15、イ-13、H30F-2 など)  
今後の水質データを見据え、また、汚染土壌対策技術検討委員会の意見も踏まえ、対策を検討したい。
- (8) 1, 4-ジオキサン浄化終了に向けたモニタリングの評価  
今後対策が必要な井戸について、その周囲の井戸の状況にも留意しつつ、薬剤処理工等の対策及びモニタリングを実施する。  
その結果、浄化終了判断基準に適合しないおそれがある場合には、次回以降の協議会及び土壌委員会に諮っていく。

4 浄化効果測定のモニタリングについて

- ・ 令和3年4月現在、27本の井戸が浄化終了相当である。
- ・ 令和5年3月の浄化終了に向けて前記対策を講ずるが、その後も浄化の効果を確認し、地域の皆様の安心が得られるよう、モニタリングを継続する必要がある。
- ・ そのモニタリングの方針を下記のとおりとしたい。詳細については次回以降の協議会及び土壌委員会に諮っていく。

モニタリング事項	内容	詳細
地点	・ 周辺表流水 ・ 調整池（南及び北） ・ 事業場東側	・ 河川、沢 ・ 区域④～⑧に所在する井戸のうち各1か所。
頻度	年4回	
項目	pH、ジオキサン	

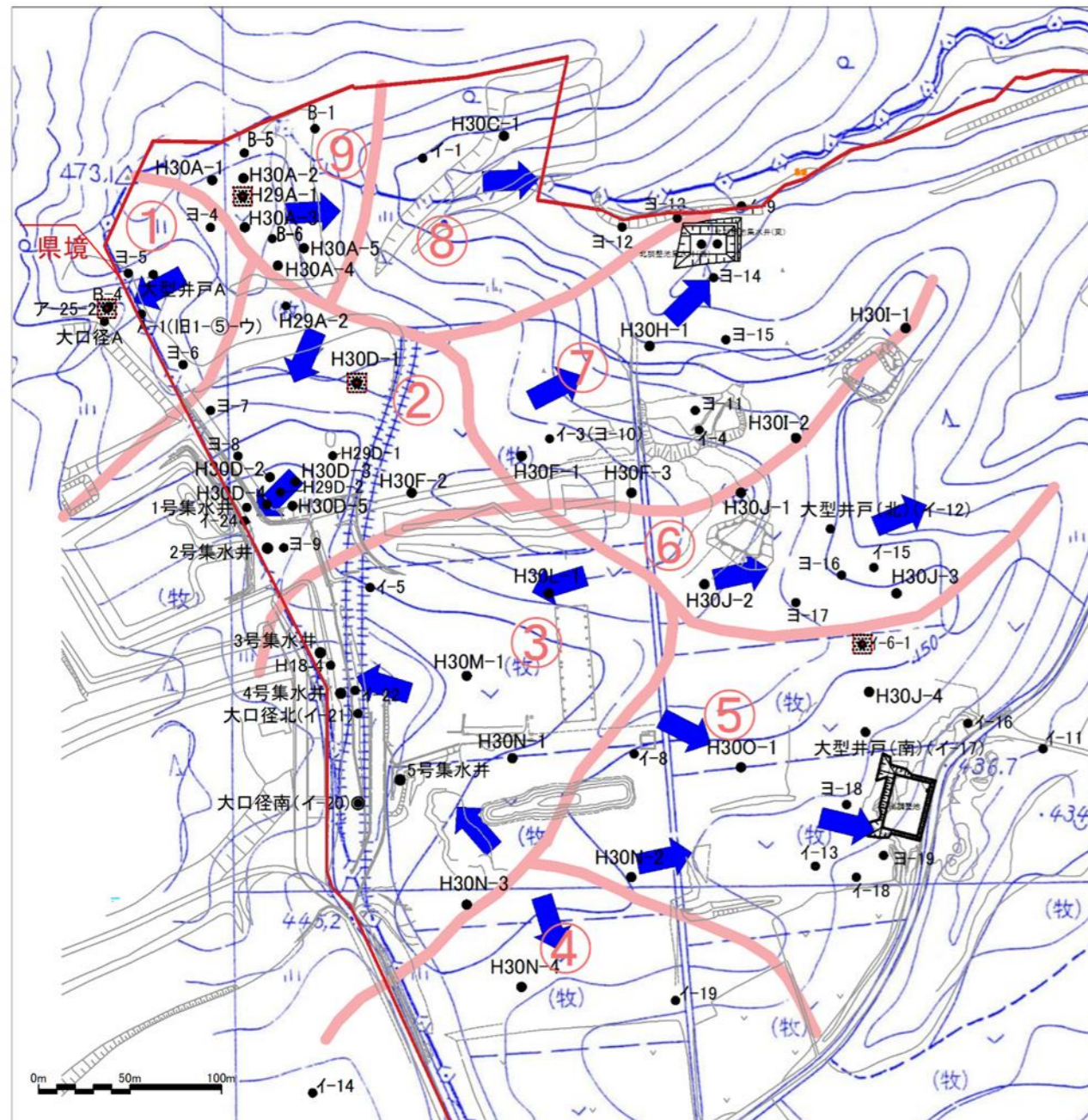


図 11 場内井戸配置図

## 工作物の解体撤去等及び地形整形について

### 【要旨】

令和2年12月19日（土）に原状回復対策協議会を開催し、**水処理施設等（以下「工作物」という。）の解体撤去及び現場内の地形整形**も完了する必要がある旨を説明したところ、**下記事項について了解**いただいた。

- 1 **工作物は、残置しても生活環境の保全上の支障が生じないもので、かつ、特別な理由がある場合に残置を検討する。**
- 2 工作物等の撤去について、「**解体・撤去するもの**」と「**残置を検討するもの**」を分類し、**原状回復対策協議会、土壌委員会の意見を聴き、決定**していく。
- 3 **地形整形は、現状に合わせて最小限の地形整形を実施する。**現場外から土を搬入しての地形整形はしない。また、場内の凹凸地、急傾斜地はできるだけ改善する。
- 4 **青森県と調整が必要な事項については、原状回復対策協議会、土壌委員会の了解を得たうえで調整**していく。

### 1 工作物の残置について

#### （1）考え方

協議会で了解された工作物の残置に係る考え方は、下表のとおり。

○R2. 12. 19 協議会資料から抜粋

項 目	内 容
撤去又は残置の考え方	工作物の中には、残置の有効性等があるものがあり、「撤去するもの」と「残置を検討するもの」に分類。 なお、残置物には合理的な理由が必要。
残置理由	①撤去することにより地形、地盤に悪影響を及ぼす ②撤去が技術的に不可能又は著しく困難 ③残置することによる有効性が認められる ④周辺への影響が認められない

#### （2）残置工作物（案）

残置する工作物は次の**4種類**とする。⇒詳細は表1及び図1

- ・ 調整池（北、南の2か所）
- ・ 鋼矢板
- ・ 建屋下の基礎杭
- ・ 大型井戸（ライナープレート工法により設置した、直径3.5m以上の4井戸）

なお、上記以外の工作物は原則撤去するが、今後も必要とされる工作物（例：浄化終了後もモニタリングする井戸等）及び元々原因者所有のL地区 旧堆肥舎 は残置する。

表1 残置工作物一覧(案)

残置する工作物	北側調整池	南側調整池	鋼矢板	建屋下の基礎杭	大型井戸 (ライナープレート工法により設置)
外観				 平成16年の建屋設置の際、地盤改良による補強が必要であったため、コンクリート製パイル杭を地下岩盤支持層へ打込んだもの。	 
構造等	A=1,518㎡ 遮水性シート	A=1,342㎡ 遮水性シート	①IIIw型 (w)600 (t)13.4 L=12.5~21.5m 234枚(重量) 323.8t  ②IVw型 (w)600 (t)18.0 L=16.0~22.0m 240枚(重量) 463.8t	超高強度コンクリート製パイル製杭 ①φ350(L)17~28m 102本 ②φ400(L)17~28m 84本 ③φ450(L)20~27m 5本 ④φ500(L)21m 1本	①A地区 大型井戸 A 径3.50m・(H)18.2m ②A地区 14mライナープレート 径14.0m・(H)13.0m ③J地区 大型井戸(北) 径9.00m・(H)14.5m ④J地区 大型井戸(南) 径3.50m・(H)16.2m ※ライナープレート (t) 2.7mm
残置理由	③・④	③・④	①・②・③・④	①・②・④	①・②・④
	○防災機能があり、残置の有効性及び周辺への影響がない	○防災機能があり、残置の有効性及び周辺への影響がない	○撤去による地盤の不安定化 ○青森県の浄化対策に寄与	○撤去による地盤の不安定化	○撤去による地盤の不安定化 ○撤去作業に危険が伴う
参考事項			・地下埋設部は残置 ・地上露出部は原則切断	地表面から深さ1m程度までの範囲は切断すること等も考慮	転落防止のため、内部を土砂等により埋戻す

※

項目	内容
残置理由	①撤去することにより地形、地盤に悪影響を及ぼす ②撤去が技術的に不可能又は著しく困難 ③残置することによる有効性が認められる ④周辺への影響が認められない

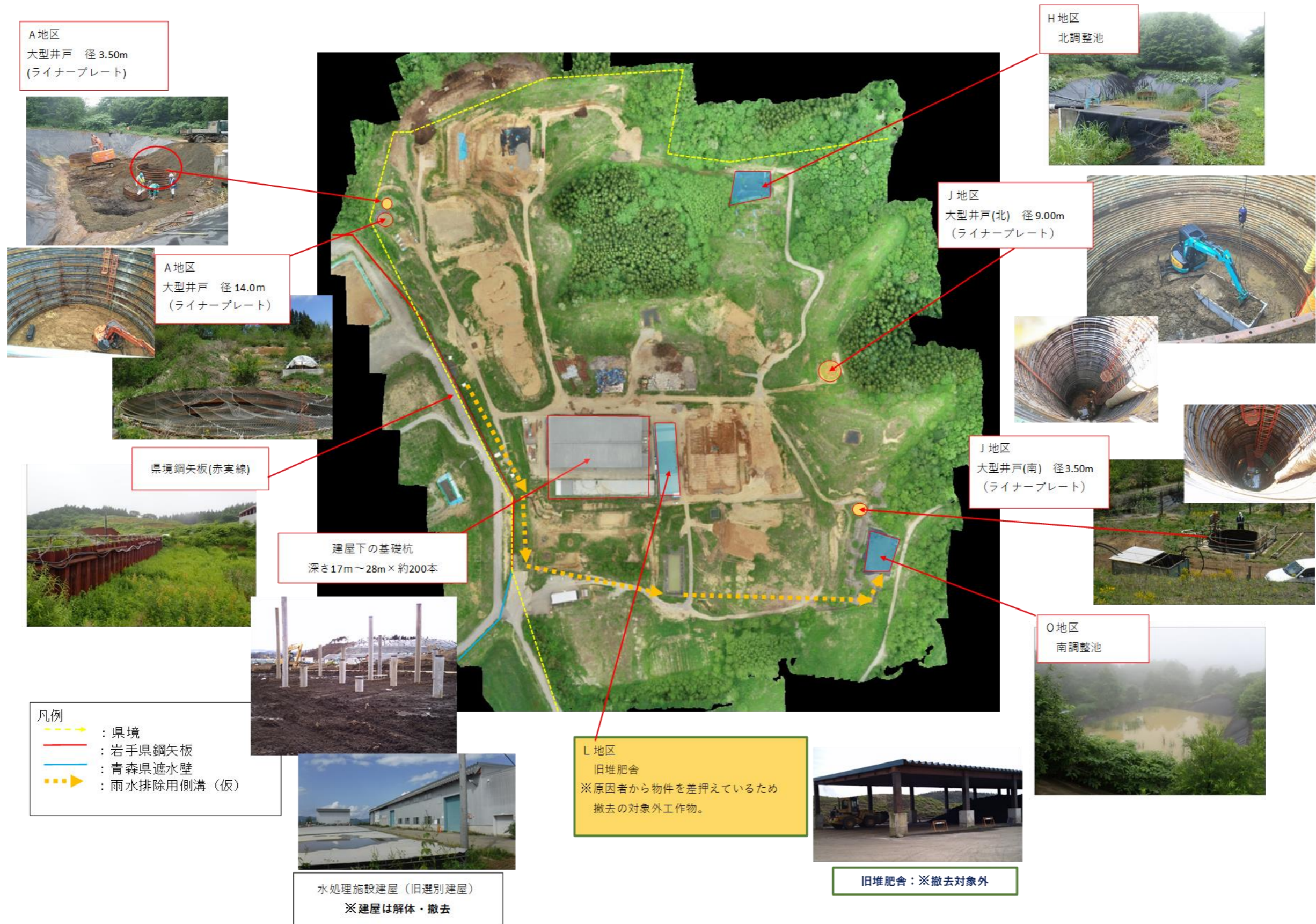


図1 残置物(案)の配置状況



## 2 地形整形について（長期的対策）

### (1) 表流水及び地下水の対応（案）

	対応案	主な施工内容
表流水	現状、県境鋼矢板を概ねの頂点として東側に傾斜していることから、これに合わせて <b>最小限の地形整形</b> とする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>区域②及び③では、当該区域の表流水が概ね、<b>県境鋼矢板周辺に集まっていることから、U字溝等により東側へ導水し、南調整池に流下させるよう計画する。</b> ⇒図 2-1（表流水導水イメージ図）</li> <li>区域④～⑧の表流水は青矢印のとおり流下するので、<b>原状のままとする。</b></li> <li>区域⑦⑧⑨は、<b>北側調整池に流下させる。</b></li> </ul>
地下水	<b>県境鋼矢板を残置する。</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>県境鋼矢板の<b>地下埋設部は、残置する。</b></li> <li>県境鋼矢板の<b>地上露出部は、原則切断する。</b> ⇒図 2-2（県境鋼矢板残置イメージ図）</li> <li>表流水導水のためのU字溝敷設計と並行して、<b>できるだけ東側への流下を検討する。</b></li> </ul>

### (2) 傾斜地及びくぼ地の対応（案）

	対応案	主な施工内容
傾斜地	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状、概ね東側に傾斜していることから、これに合わせて<b>最小限の地形整形とする。</b></li> <li>客土（現場外から土を搬入）しての地形整形はしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①⑨地区（⑨地区 汚染土掘削北側斜面） 土砂崩落防止のため、現状の傾斜（切土工の安定勾配 1:1.0）よりも<b>できるだけ緩やかな斜面にする。</b></li> <li>①地区西側 表流水による支障が生じていないことや、崩落の恐れが低いことから、<b>現状のままとする。</b></li> </ul>
くぼ地	転落防止の危険性があることから、 <b>大きなくぼ地は埋戻す。</b>	<p>今後の対応等に支障がなく、埋戻す必要があるくぼ地は<b>順次埋戻す。表流水が滞留しないよう埋戻す。</b> (③地区は浄化対策完了していることから、R3より先行してくぼ地の解消を進める。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><b>大型井戸</b> 残置する方針であるが、<b>危険防止のため、碎石や土砂を用いて埋戻す。</b></li> </ul>

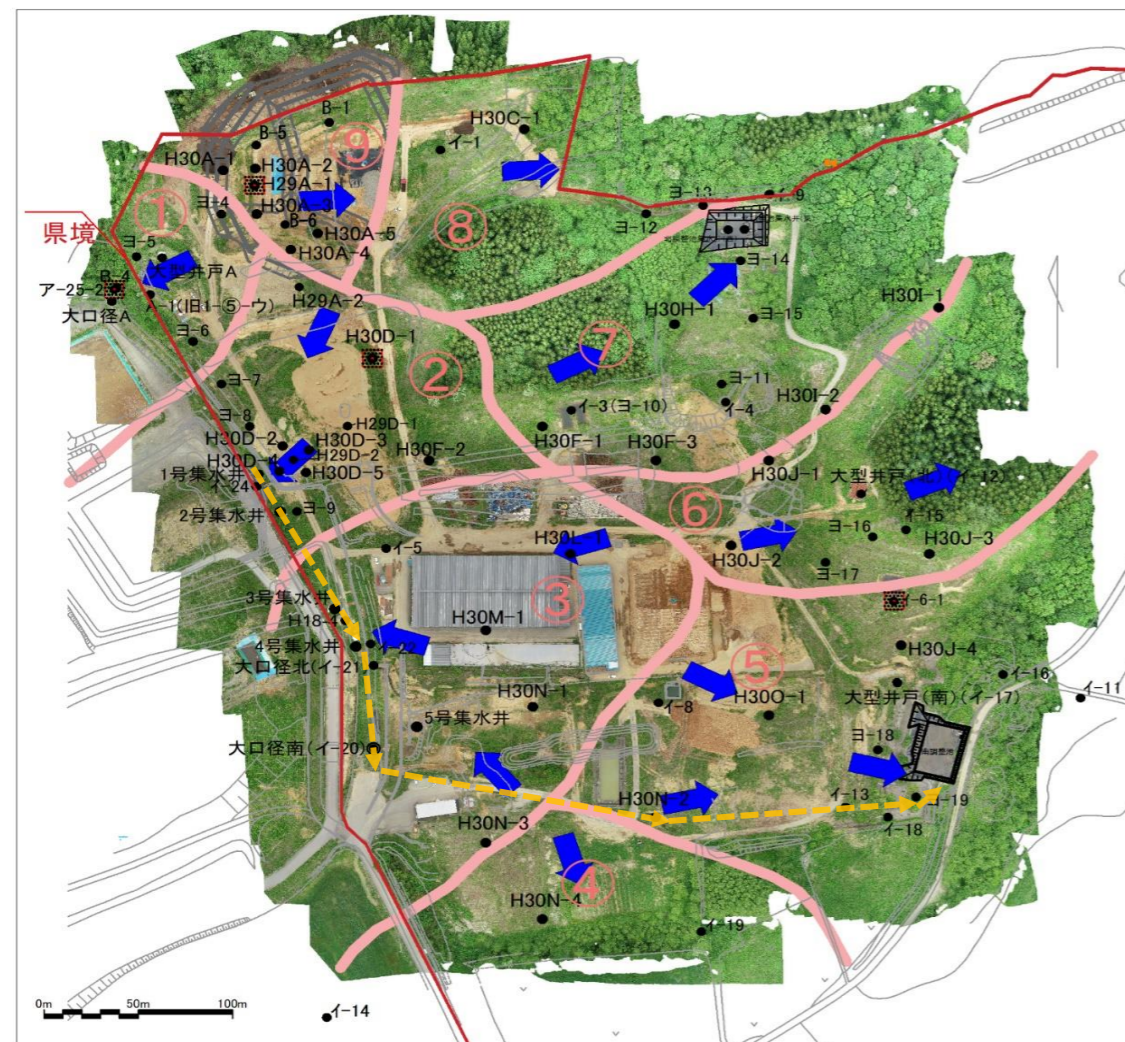


図 2-1 表流水導水イメージ

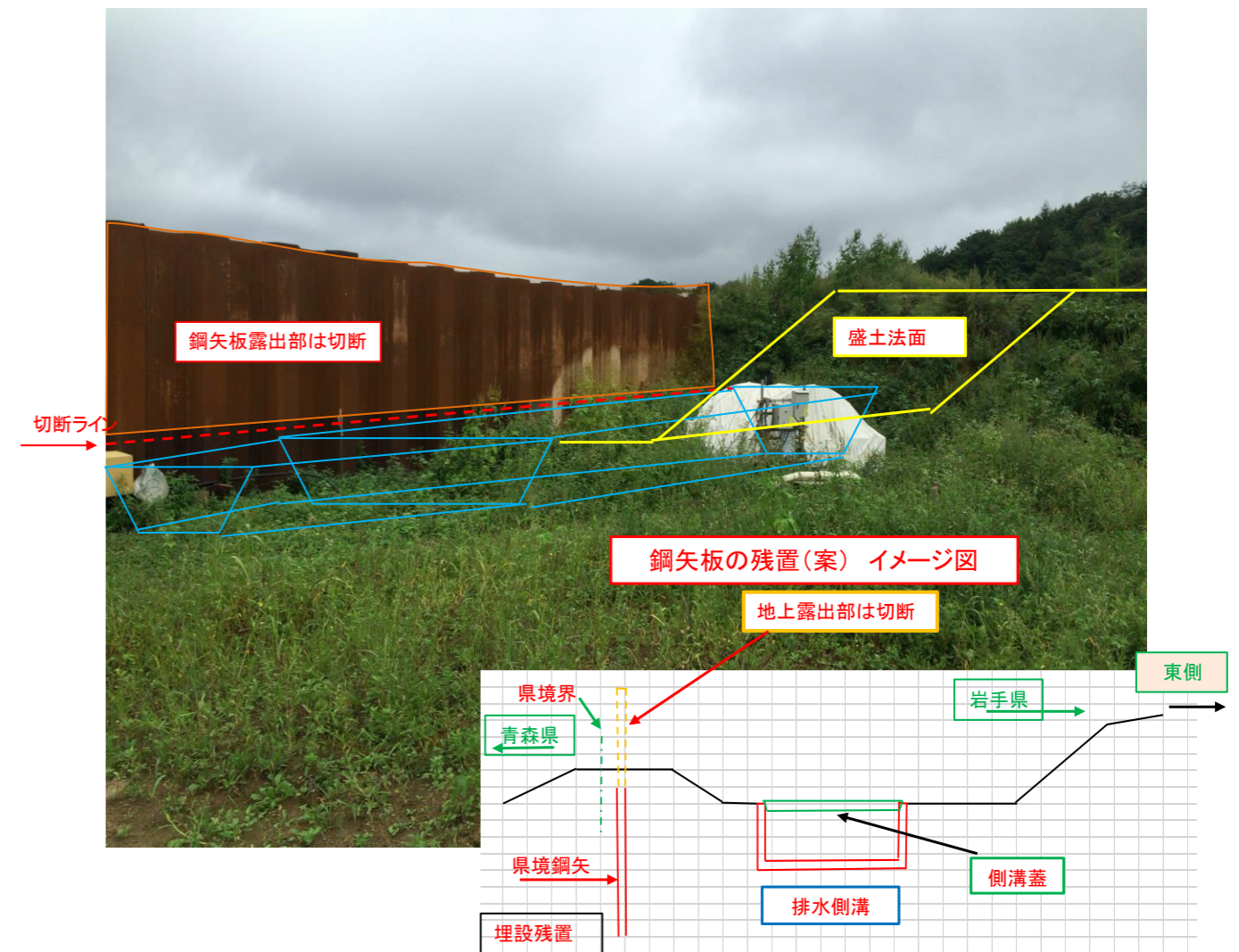


図 2-2 県境鋼矢板残置イメージ

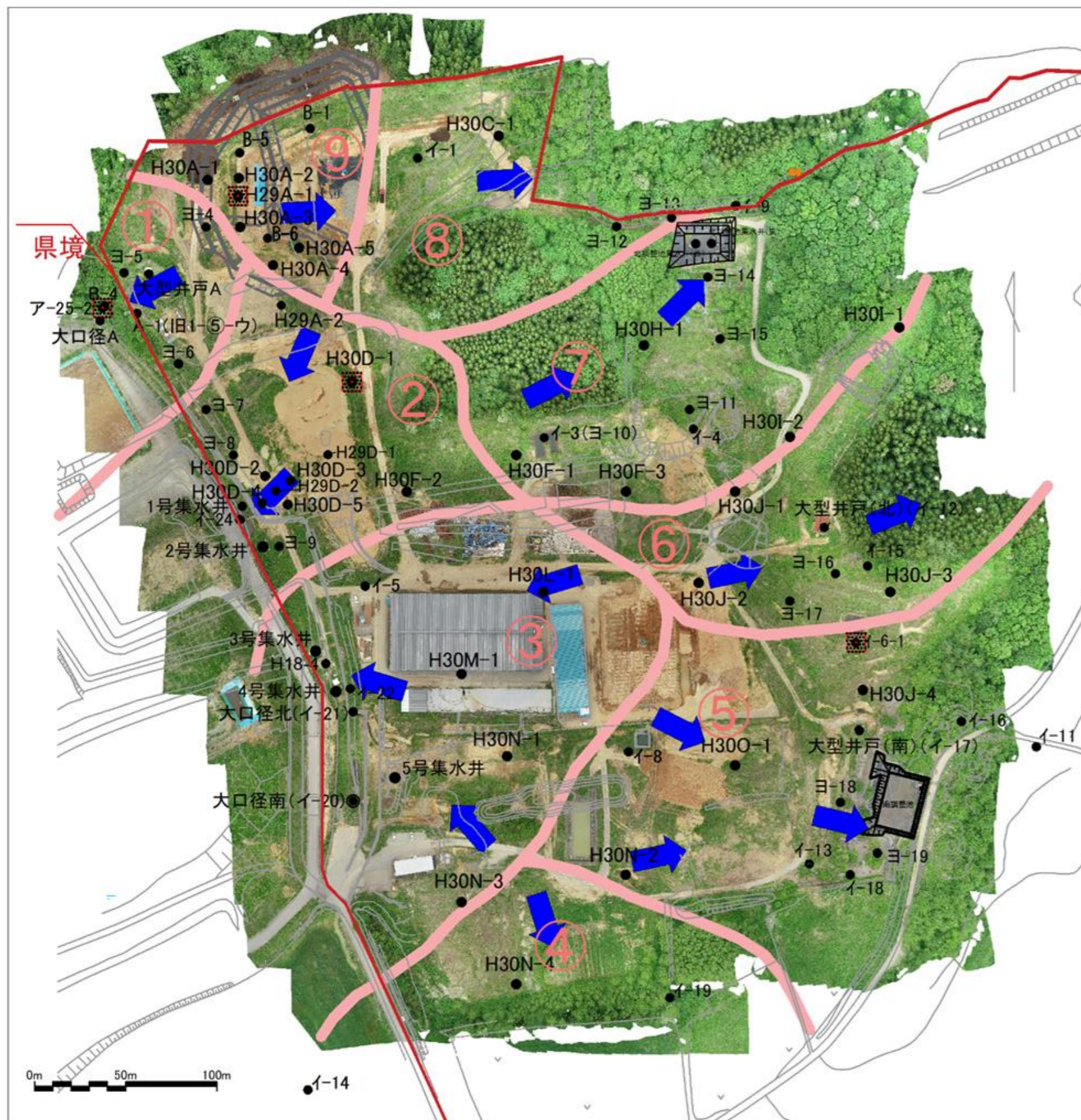
### 3 今後のスケジュール

- ・ 残置する工作物以外のものは、浄化終了確認後、順次撤去する。
- ・ 土壌委員会及び協議会で了解された方針を青森県と共有し、必要な調整を行う。
- ・ 工作物解体撤去及び地形整形の詳細については、設計のうえ、次回以降の土壌委員会及び協議会で説明予定。

主要項目	R2			R3			R4			R5以降	
	6月	12月	3月	6月	12月	3月	6月	12月	3月	6月	12月
地下水浄化対策 (ジオキサン)				揚水処理、薬剤処理等			モニタリング継続				
				浄化進行状況管理							
構造物の 解体撤去	構造物リスト、解体等検討			解体撤去等計画			解体撤去・地形整形工事				
原状回復対策 協議会	6/13	9/12	12/19	6/12	9/11	12/18		年3回			

特措法 時限 : R5.3月末

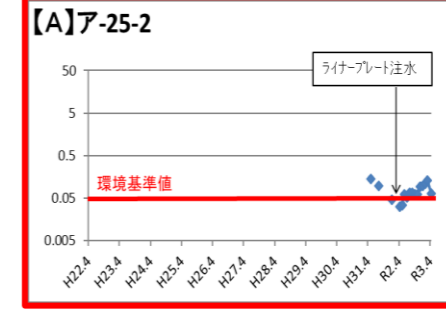
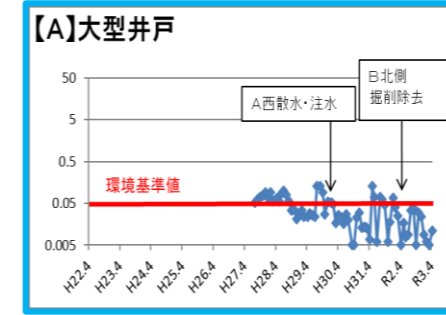
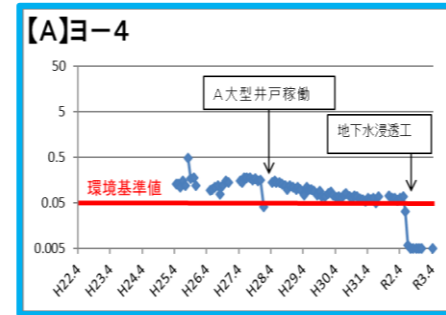
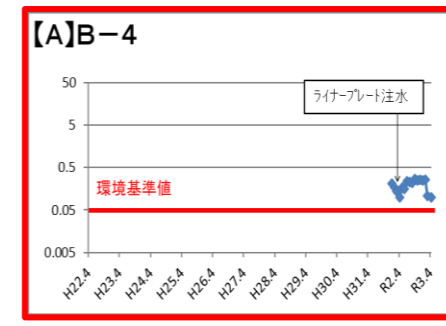
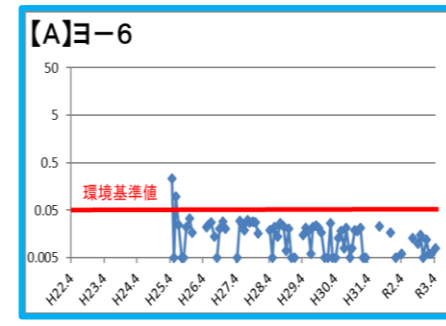
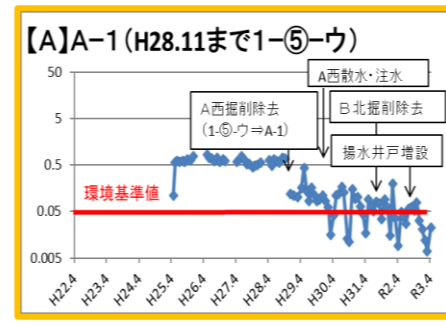
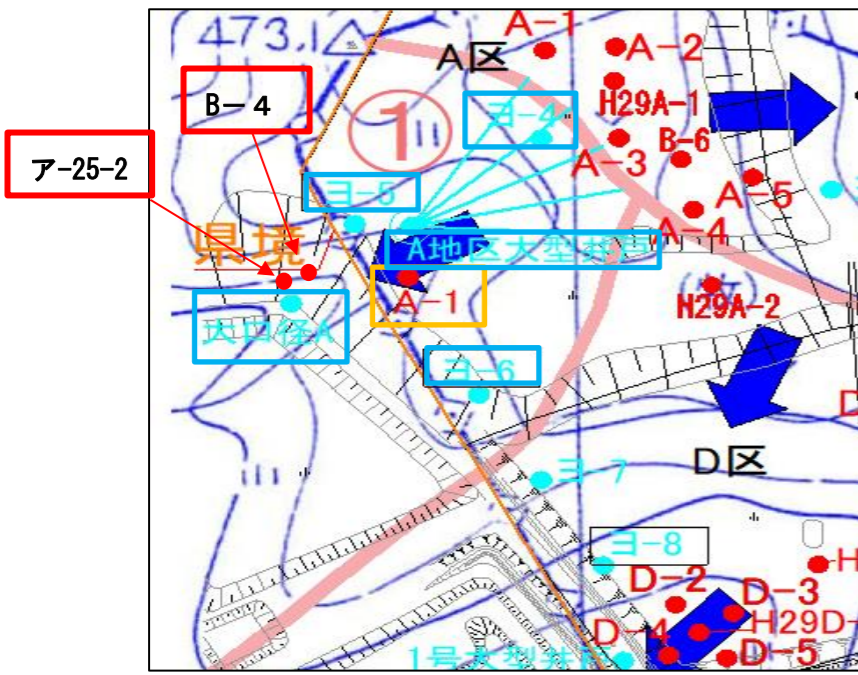
# 場内井戸配置図



各地点の浄化進捗状況 (R3. 4 検査結果判明時点)

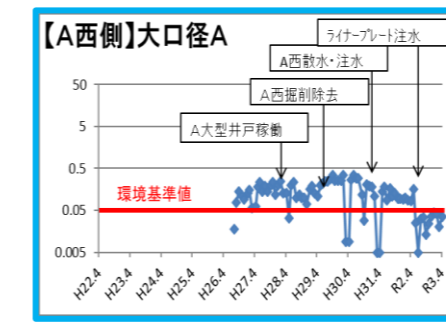
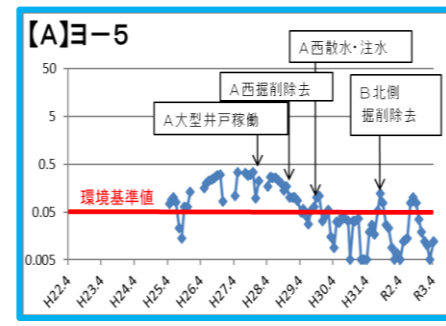
区域	A 環境基準 超過	B 浄化継続 期間	C モニタリング 期間	D 浄化終了	合計
①	2 (25%)	1 (13%)	5 (63%)	0 (0%)	8 (100%)
②	3 (20%)	2 (13%)	8 (53%)	2 (13%)	15 (100%)
③	0 (0%)	0 (0%)	6 (50%)	6 (50%)	12 (100%)
④	0 (0%)	0 (0%)	1 (50%)	1 (50%)	2 (100%)
⑤	1 (8%)	3 (25%)	3 (25%)	5 (42%)	12 (100%)
⑥	0 (0%)	0 (0%)	4 (57%)	3 (43%)	7 (100%)
⑦	0 (0%)	1 (8%)	7 (54%)	5 (38%)	13 (100%)
⑧	0 (0%)	0 (0%)	2 (50%)	2 (50%)	4 (100%)
⑨	3 (30%)	1 (10%)	3 (30%)	3 (30%)	10 (100%)
合計	9 (11%)	8 (10%)	39 (47%)	27 (33%)	83 (100%)

区域①

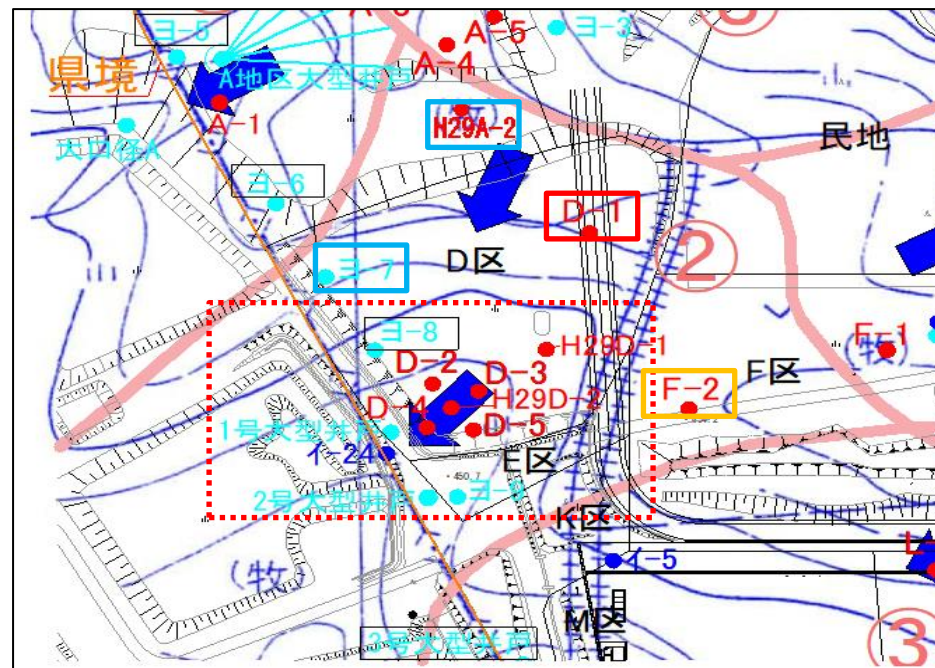


凡例 (区域①～⑨において共通)

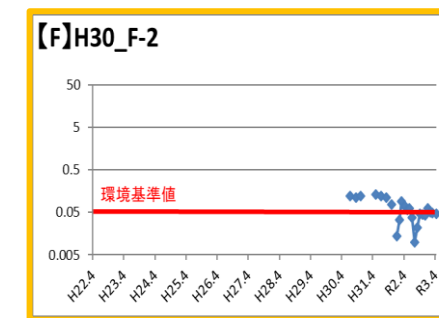
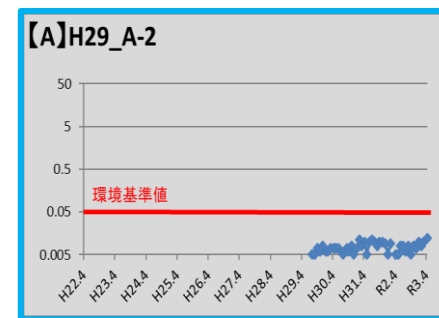
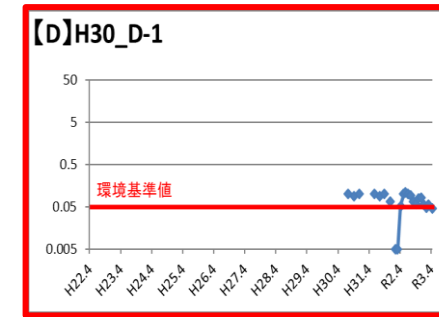
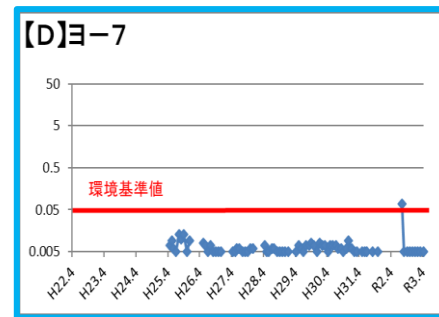
- : A 環境基準超過
- : B 浄化継続期間
- : C モニタリング期間
- : D 浄化終了
- : 分水嶺を元にした区域の境界
- ← : 地下水流向



地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
A	1	A-1(旧1-5-U)	0.089	0.065	0.015	0.20	0.036	0.009	0.049	0.039	0.027	0.056	0.062	0.052	0.077	0.032	0.021	0.012	0.007	0.022	A-1(旧1-5-U)	1	浄化継続期間
A	1	ヨ-4	-	0.073	0.064	0.063	0.057	0.064	0.069	0.033	0.006	0.005	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	-	0.003	ヨ-4	1	モニタリング期間
A	1	ヨ-5	0.027	0.023	0.009	0.003	0.007	0.003	0.012	0.013	0.014	0.079	0.10	0.079	0.035	0.019	0.012	0.010	0.003	0.012	ヨ-5	1	モニタリング期間
A	1	ヨ-6	-	0.017	-	0.005	-	0.006	-	-	-	0.013	-	0.010	0.015	0.003	0.012	0.006	0.006	0.008	ヨ-6	1	モニタリング期間
A	1	大型井戸A	0.006	0.018	0.068	0.040	0.025	0.005	0.017	0.008	0.009	0.034	0.039	0.003	0.030	0.024	0.009	0.006	0.003	0.011	大型井戸A	1	モニタリング期間
地区外A西側	1	大口径A	0.096	0.097	0.090	0.099	0.089	0.083	0.16	0.003	0.003	0.031	0.034	0.013	0.024	0.036	0.043	0.042	0.020	0.036	大口径A	1	モニタリング期間
A	1	B-4	-	-	0.21	0.17	0.14	0.10	0.17	0.16	0.24	0.23	0.22	0.27	0.25	0.26	0.25	0.26	0.11	0.10	B-4	1	薬剤処理
A	1	ア-25-2	-	-	0.047	-	-	0.032	0.035	0.061	0.052	0.068	0.066	0.063	0.063	0.093	0.099	0.11	0.13	0.064	ア-25-2	1	薬剤処理



内は次ページの区域②-2に掲載

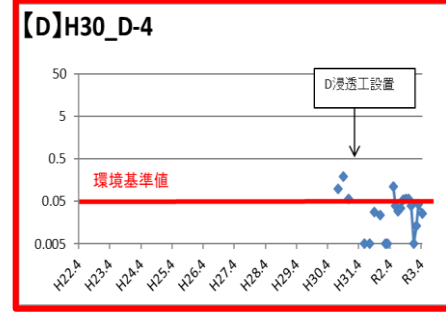
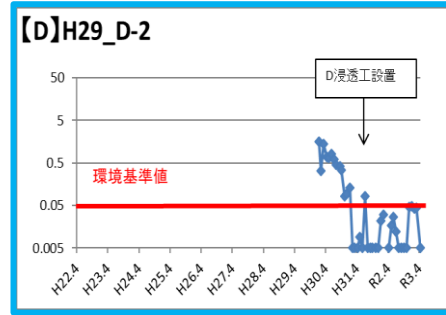
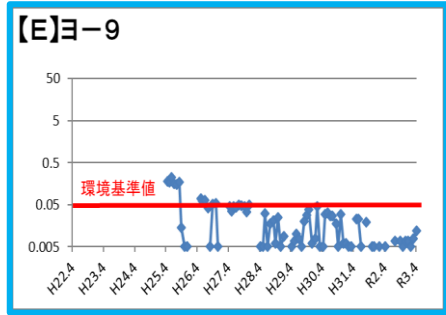
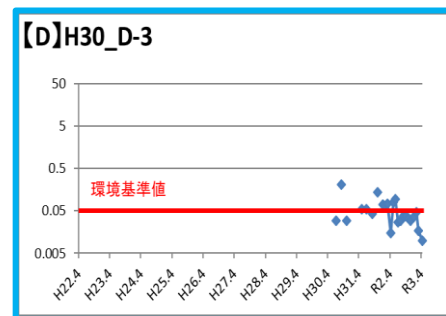
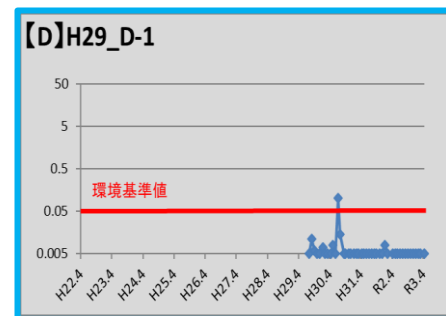
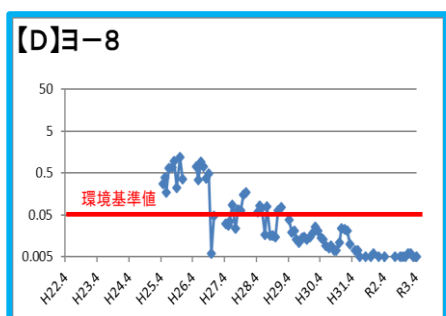
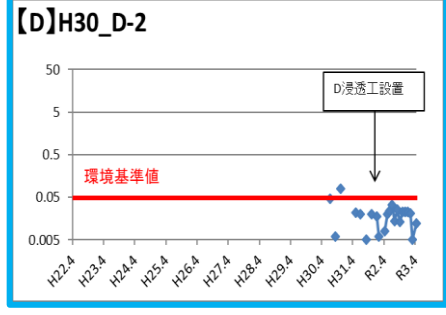
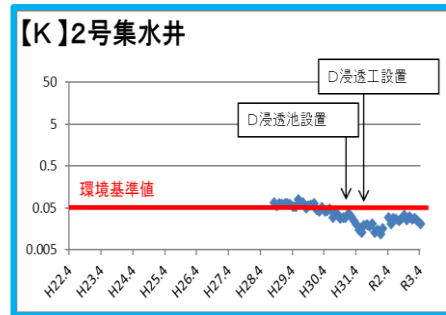
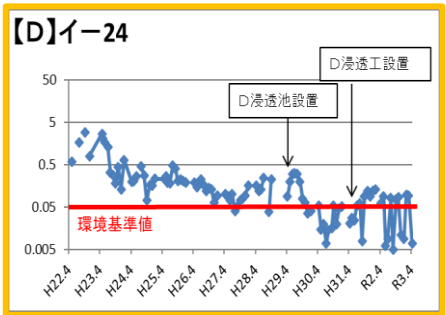
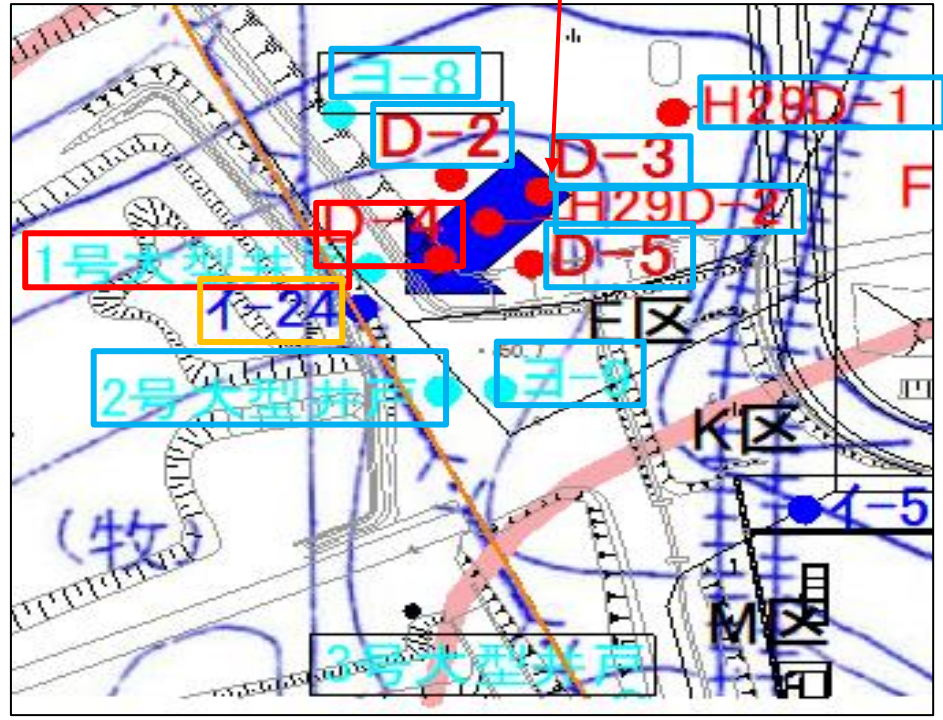


- 凡例（区域①～⑨において共通）
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向

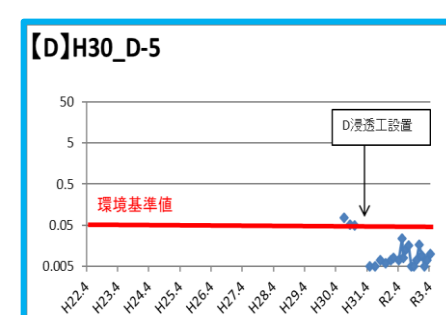
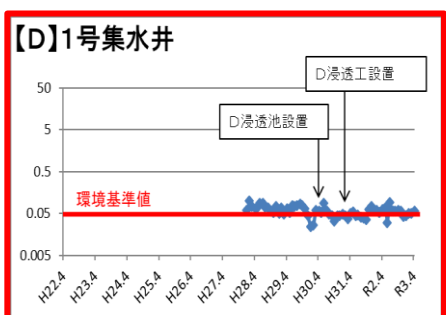
地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
D	2	ヨ-7	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	0.069	0.025	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-7	2	モニタリング期間
A	2	H29_A-2	0.010	0.009	0.003	0.009	-	0.003	0.005	0.008	0.008	0.006	0.008	0.005	0.008	0.007	0.010	0.008	0.010	0.012	H29_A-2	2	浄化終了相当
D	2	H30_D-1	0.067	-	0.003	0.003	0.052	0.10	0.11	0.10	0.092	0.067	0.058	0.079	0.082	0.057	0.047	0.056	0.046	0.096	H30_D-1	2	薬剤処理
F	2	H30_F-2	0.075	-	0.014	0.033	0.090	0.070	0.058	0.063	0.037	0.010	0.022	0.047	0.045	0.043	0.061	0.050	0.048	0.046	H30_F-2	2	対策検討中

地下水浸透工 (R元.11~)

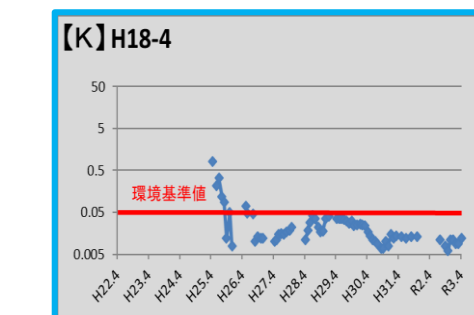
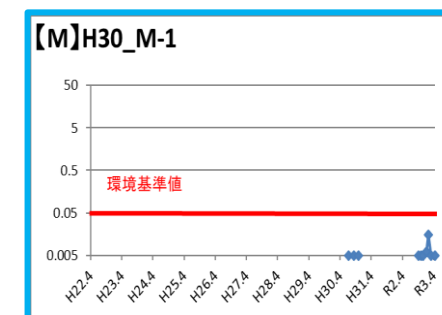
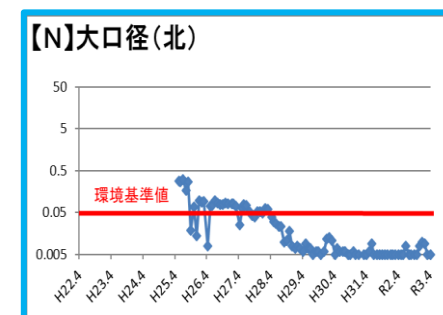
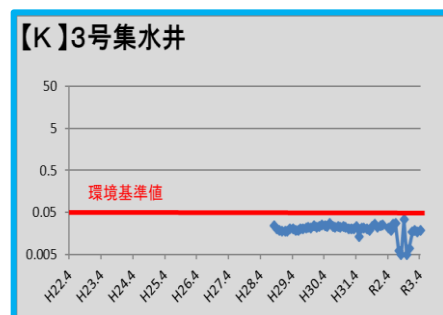
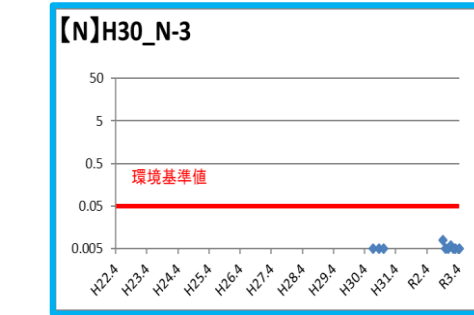
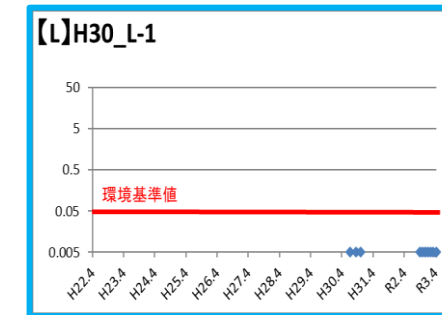
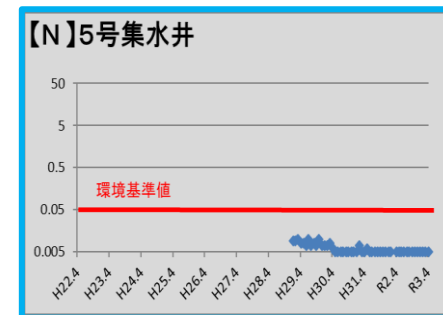
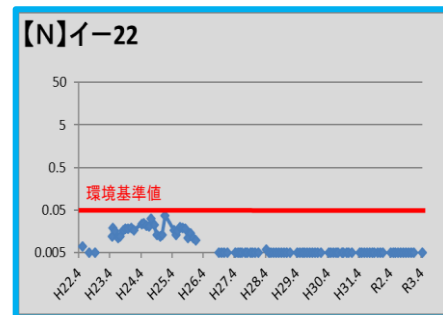
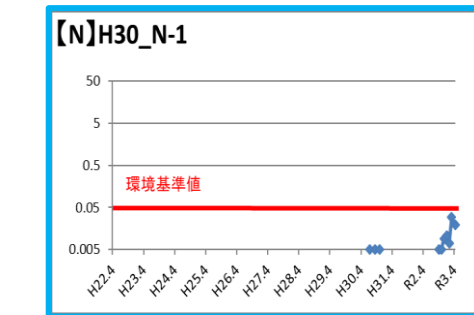
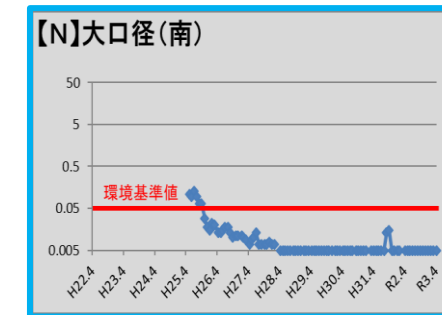
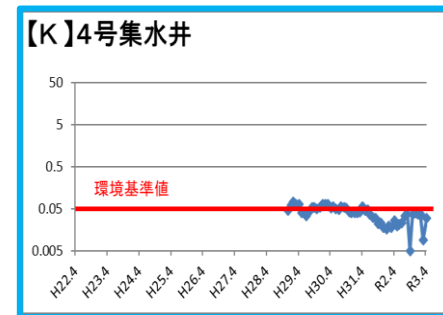
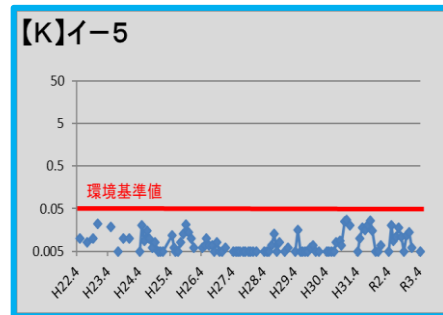
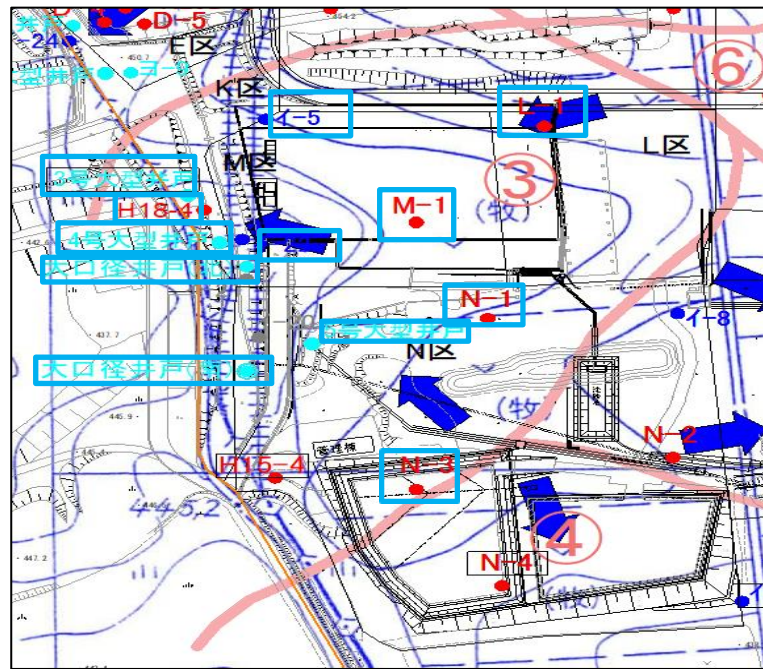
区域②-2



- 凡例 (区域①~⑨において共通)
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向



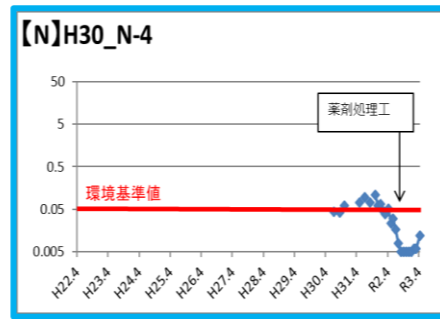
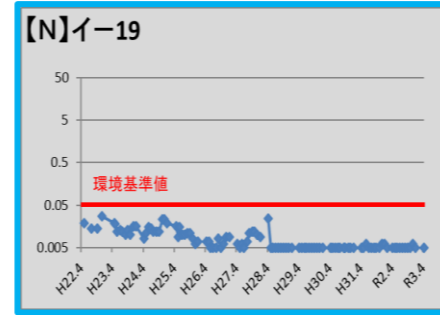
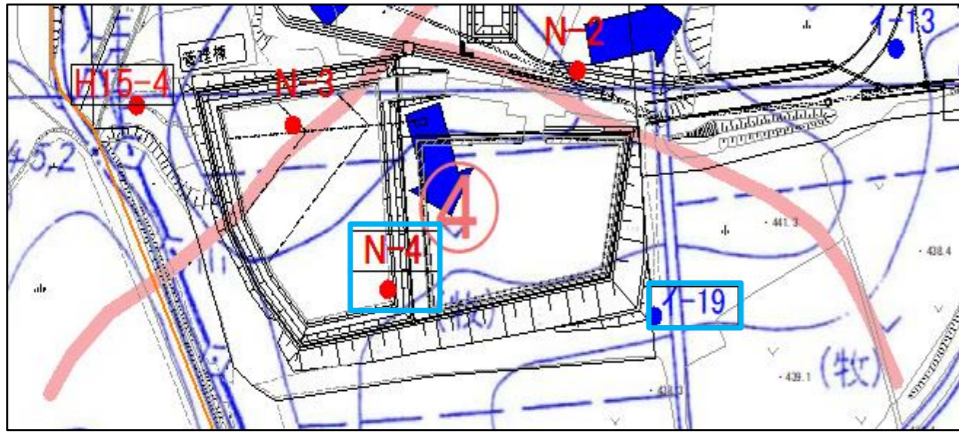
地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
K	2	イ-24	0.12	0.091	0.12	0.13	-	0.062	0.088	0.006	0.009	0.083	0.003	0.076	0.086	0.011	0.009	0.096	0.095	0.007	イ-24	2	対策検討中(撤廃除去)
D	2	ヨ-8	0.003	0.006	-	0.005	-	0.005	-	-	-	0.005	-	0.005	0.003	0.003	0.006	0.006	0.003	0.003	ヨ-8	2	モニタリング期間
E	2	ヨ-9	0.003	0.003	-	0.003	-	0.003	-	-	-	0.007	-	0.007	0.003	0.007	0.007	0.003	0.008	0.012	ヨ-9	2	モニタリング期間
D	2	1号集水井	0.063	0.075	0.059	0.060	0.053	0.063	0.068	0.030	0.092	0.057	0.058	0.061	0.057	0.043	0.045	0.051	0.050	0.058	1号集水井	2	対策検討中(撤廃除去)
K	2	2号集水井	0.013	0.015	0.012	0.016	-	0.029	0.021	0.028	0.027	0.025	0.027	0.034	0.026	0.031	0.027	0.028	0.025	0.021	2号集水井	2	モニタリング期間
D	2	H29_D-1	0.003	0.003	0.008	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H29_D-1	2	浄化終了相当
D	2	H29_D-2	0.003	0.003	0.022	0.030	0.005	0.003	0.017	0.027	0.012	0.003	0.003	0.003	0.003	0.046	0.048	0.043	0.044	0.003	H29_D-2	2	モニタリング期間
D	2	H30_D-2	0.020	-	0.018	0.006	-	0.008	0.020	0.024	0.033	0.014	0.026	0.013	0.023	0.023	0.023	0.021	0.005	0.012	H30_D-2	2	モニタリング期間
D	2	H30_D-3	0.14	-	0.072	0.085	0.073	0.015	0.081	0.093	0.027	0.029	0.038	0.038	0.033	0.030	0.036	0.046	0.017	0.010	H30_D-3	2	モニタリング期間
D	2	H30_D-4	0.024	-	0.003	0.003	-	0.11	0.040	0.029	0.035	0.054	0.058	0.056	0.039	0.003	0.013	0.042	0.026	0.053	H30_D-4	2	対策検討中
D	2	H30_D-5	0.006	-	0.007	0.008	-	0.007	0.024	0.008	0.013	0.016	0.003	0.003	0.007	0.017	0.009	0.005	0.007	0.010	H30_D-5	2	モニタリング期間



凡例 (区域①～⑨において共通)

- : A 環境基準超過
- : B 浄化継続期間
- : C モニタリング期間
- : D 浄化終了
- : 分水嶺を元にした区域の境界
- ← : 地下水流向

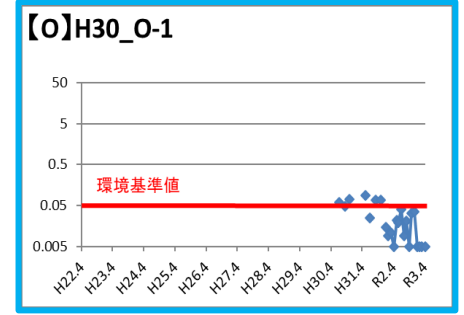
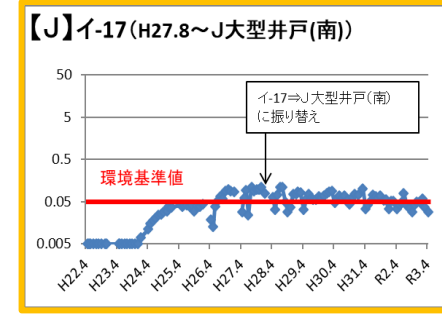
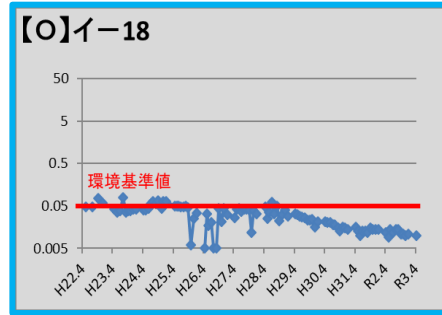
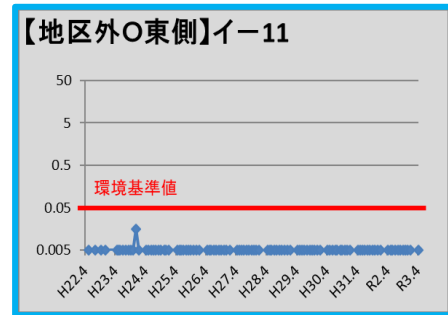
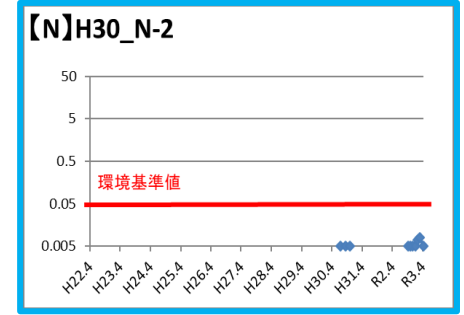
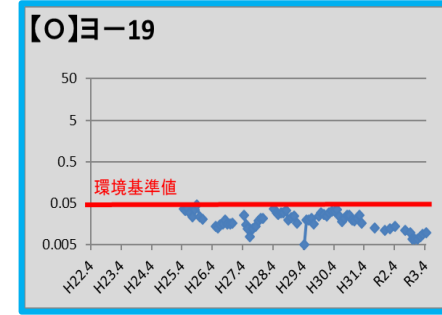
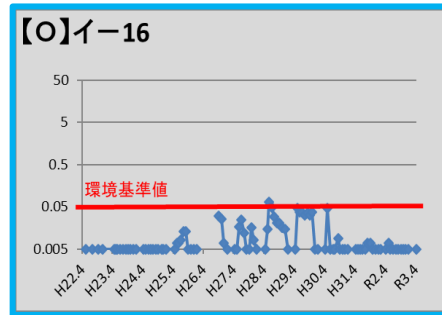
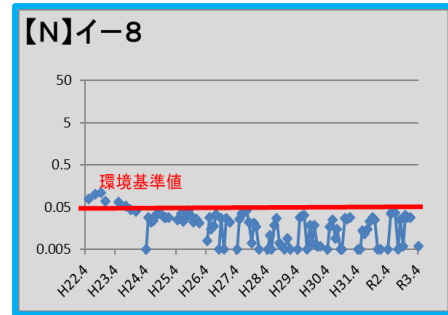
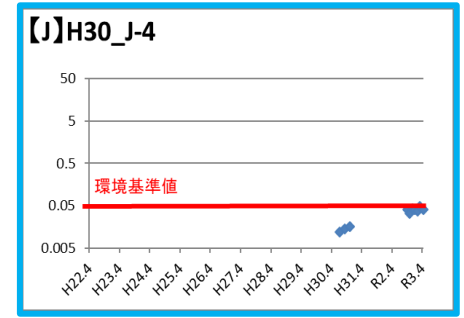
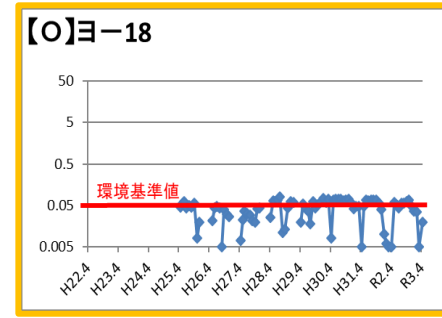
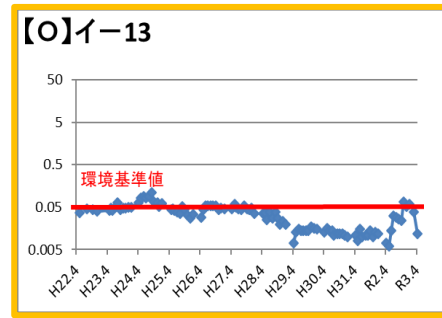
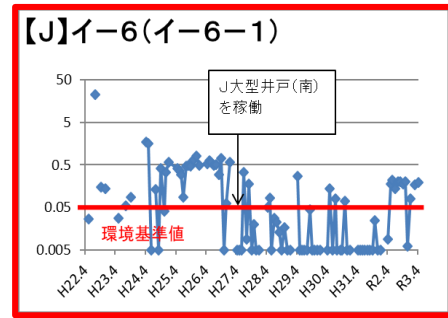
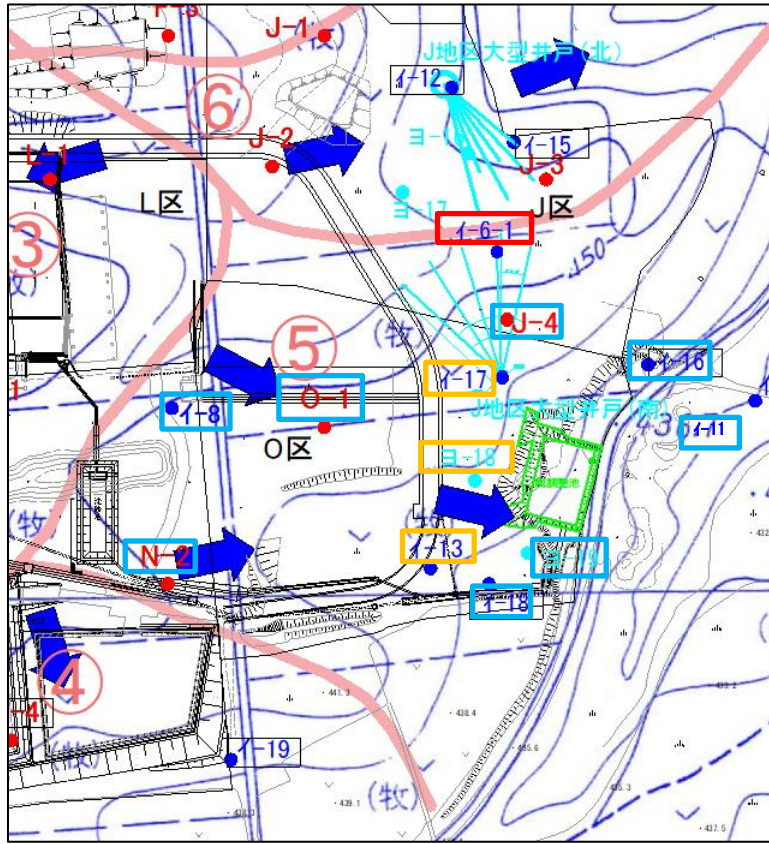
地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)	
K	3	イ-5	0.003	0.005	0.007	-	-	0.003	0.020	0.009	0.011	0.018	0.011	0.003	0.012	0.014	0.006	-	-	0.003	イ-5	3	浄化終了相当	
M	3	イ-22	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	イ-22	3	浄化終了相当	
K	3	3号集水井	0.026	0.022	0.024	0.025	-	0.021	0.019	0.026	0.027	0.006	0.005	0.034	0.003	0.007	0.017	0.019	0.017	0.019	3号集水井	3	浄化終了相当	
K	3	4号集水井	0.023	0.018	0.016	0.019	0.018	0.026	0.019	0.021	0.023	0.034	0.037	0.003	0.037	0.039	0.037	0.036	0.009	0.030	4号集水井	3	モニタリング期間	
N	3	5号集水井	0.003	0.003	0.003	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	5号集水井	3	浄化終了相当
M	3	大口径北(イ-21)	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.008	0.003	0.003	0.003	0.003	0.008	0.010	0.009	0.003	0.005	大口径北(イ-21)	3	モニタリング期間	
N	3	大口径南(イ-20)	0.003	0.003	0.003	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	大口径南(イ-20)	3	浄化終了相当
L	3	H30_L-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H30_L-1	3	モニタリング期間	
M	3	H30_M-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.006	0.015	0.003	0.003	H30_M-1	3	モニタリング期間	
N	3	H30_N-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.005	0.005	0.009	0.011	0.007	0.030	0.019	H30_N-1	3	モニタリング期間	
N	3	H30_N-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.008	0.003	0.003	0.006	0.003	0.003	0.005	H30_N-3	3	モニタリング期間	
K	3	H18-4	0.013	-	-	-	-	-	-	-	-	0.011	-	0.008	0.006	0.011	0.011	0.009	0.009	0.012	H18-4	3	浄化終了相当	



- 凡例 (区域①～⑨において共通)
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向

地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
N	4	イ-19	0.005	0.006	0.006	0.005	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.003	-	-	0.003	イ-19	4	浄化終了相当
N	4	H30_N-4	0.11	0.060	0.067	0.046	0.039	0.052	0.023	0.030	0.017	0.008	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.012	H30_N-4	4	モニタリング期間

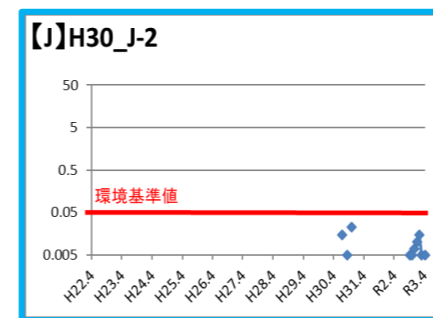
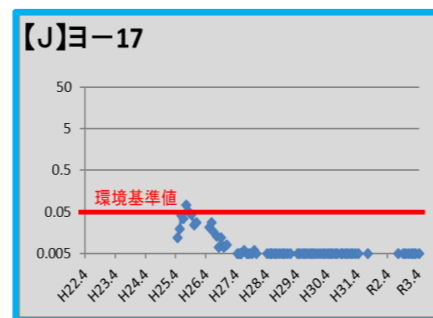
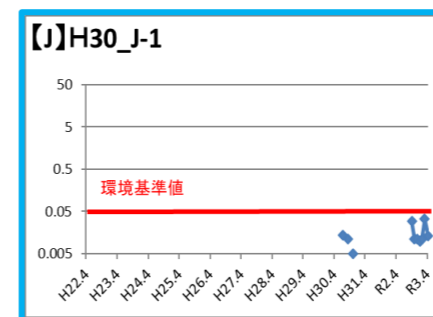
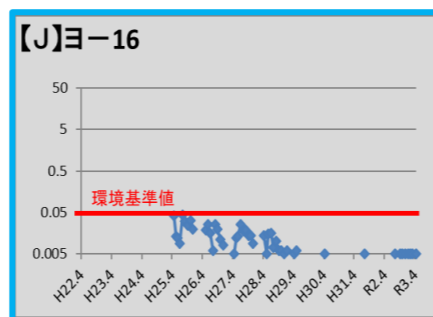
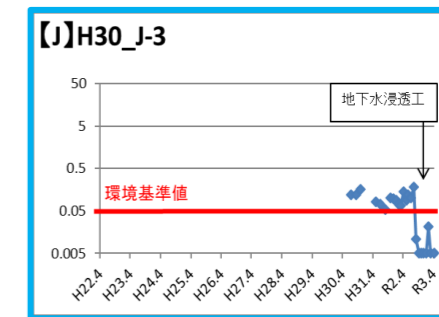
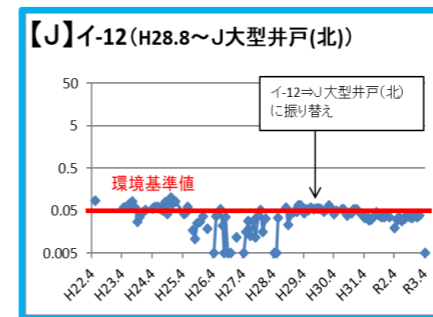
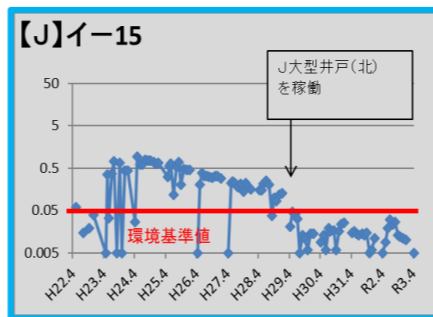
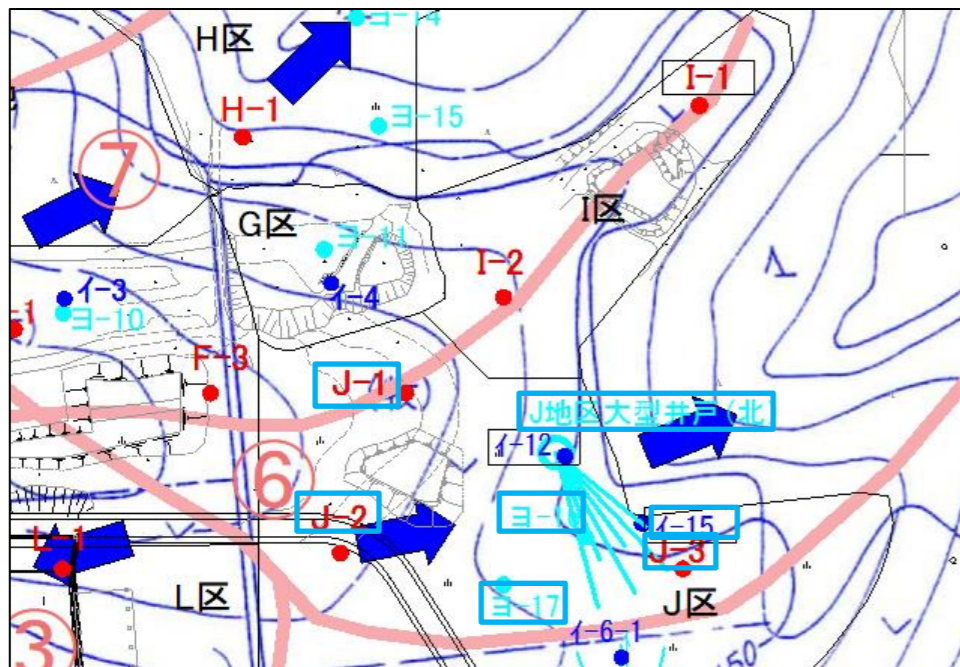




- 凡例 (区域①~⑨において共通)
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向

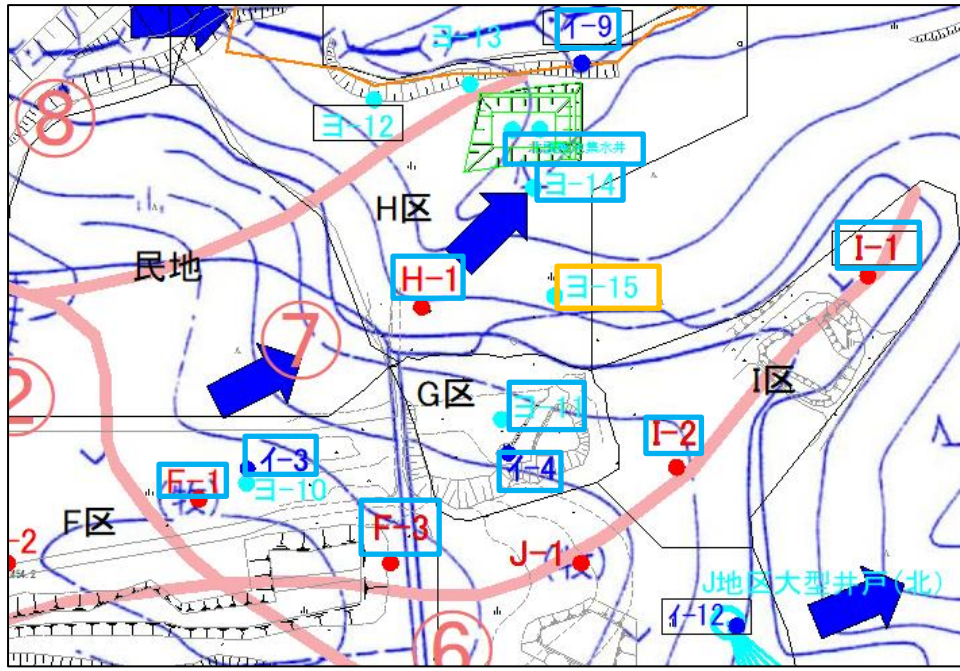
地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
J	5	I-6-1	0.024	0.003	0.005	-	-	0.009	0.18	0.22	0.14	0.20	0.20	0.18	0.20	0.006	0.080	-	0.17	0.19	I-6-1	5	薬剤処理
N	5	I-8	0.025	0.005	0.005	-	-	0.003	0.035	0.040	0.037	0.003	0.025	0.006	0.032	0.028	0.028	-	-	0.006	I-8	5	浄化終了相当
地区外O東側	5	I-11	0.005	0.003	0.003	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	I-11	5	浄化終了相当
O	5	I-13	0.010	0.013	0.012	-	-	0.007	0.006	0.014	0.031	0.029	0.026	0.024	0.066	0.052	0.058	-	0.038	0.012	I-13	5	対策検討中
O	5	I-16	0.003	0.003	0.003	0.003	-	0.003	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	I-16	5	浄化終了相当
O	5	I-18	0.014	0.014	0.014	-	-	0.012	0.009	0.014	0.012	0.014	0.014	0.011	0.011	0.010	0.011	-	-	0.010	I-18	5	浄化終了相当
O	5	ヨ-18	0.057	0.039	0.010	0.006	0.005	0.003	0.060	0.052	0.044	0.056	0.056	0.061	0.068	0.049	0.037	0.035	0.003	0.020	ヨ-18	5	浄化継続期間
O	5	ヨ-19	-	0.011	-	0.012	-	0.014	-	-	-	0.011	-	0.010	0.007	0.007	0.007	0.008	0.009	0.010	ヨ-19	5	浄化終了相当
I,J	5	大型井戸(南)(I-17)	0.054	0.056	0.033	0.052	0.051	0.034	0.042	0.047	0.079	0.042	0.035	0.029	0.041	0.050	0.050	0.058	0.036	0.028	大型井戸(南)(I-17)	5	浄化継続期間
J	5	H30_J-4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.040	0.033	0.042	0.040	0.037	0.048	0.041	H30_J-4	5	モニタリング期間
N	5	H30_N-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.005	0.003	0.007	0.008	0.003	H30_N-2	5	モニタリング期間
O	5	H30_O-1	0.068	-	0.015	0.009	0.011	0.003	0.022	0.019	0.040	0.009	0.021	0.003	0.032	0.035	0.003	0.003	0.003	0.005	H30_O-1	5	モニタリング期間

区域⑥



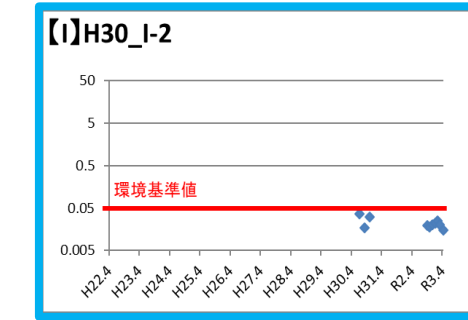
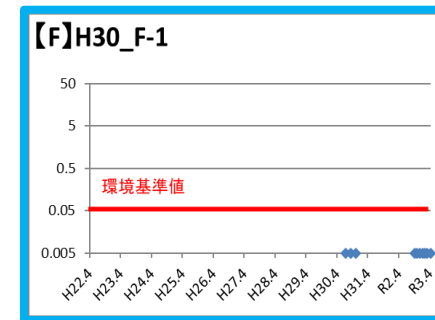
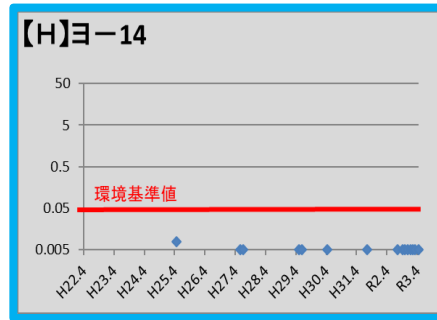
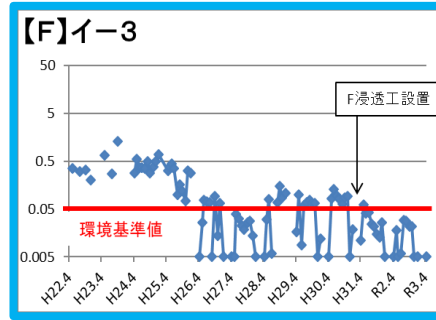
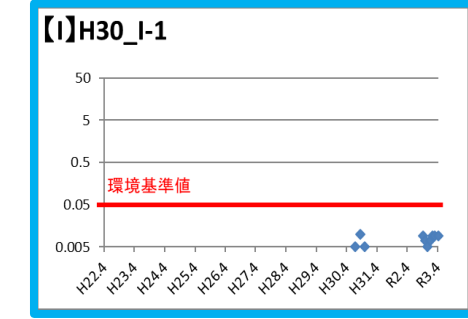
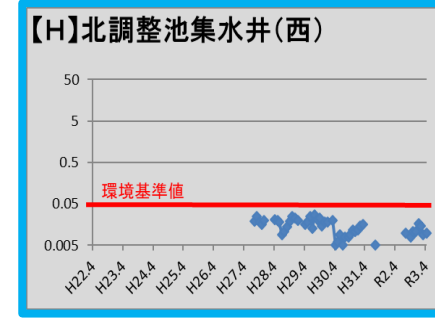
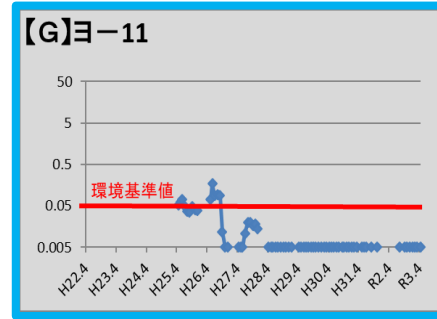
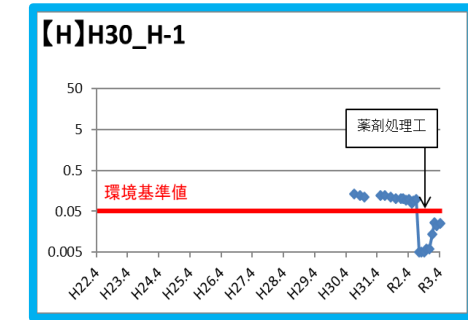
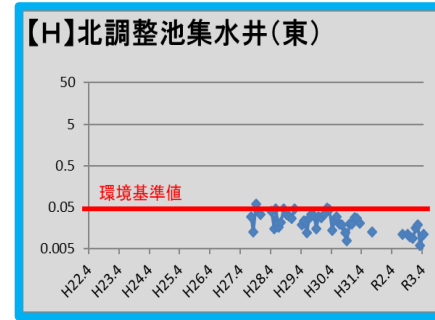
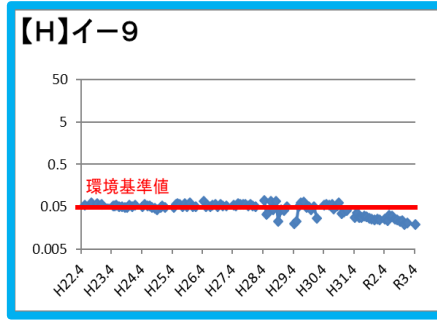
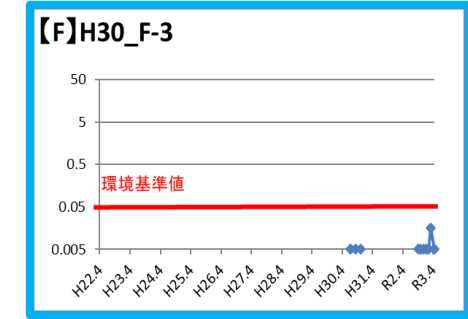
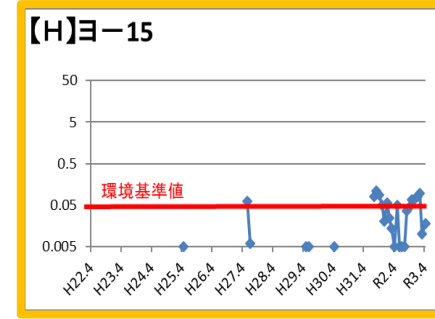
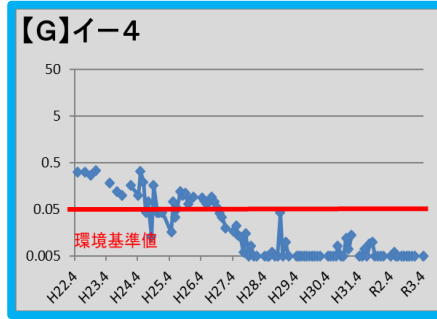
- 凡例 (区域①~⑨において共通)
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向

地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
J	6	イ-15	0.003	0.006	0.011	-	-	0.003	0.009	0.019	0.031	0.024	0.027	0.013	0.012	0.011	0.010	-	-	0.005	イ-15	6	浄化終了相当
J	6	ヨ-16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-16	6	浄化終了相当
J	6	ヨ-17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-17	6	浄化終了相当
J	6	大型井戸(北)(イ-12)	0.035	0.035	0.038	0.036	0.033	0.020	0.030	0.035	0.029	0.032	0.04	0.036	0.034	0.037	0.036	0.038	0.028	0.005	大型井戸(北)(イ-12)	6	モニタリング期間
J	6	H30_J-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.029	0.011	0.011	0.010	0.011	0.033	0.013	H30_J-1	6	モニタリング期間
J	6	H30_J-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.007	0.010	0.015	0.003	0.003	H30_J-2	6	モニタリング期間
J	6	H30_J-3	0.10	0.096	0.090	0.074	0.067	0.14	0.091	0.12	0.10	0.18	0.010	0.003	0.003	0.003	0.003	0.021	0.003	0.003	H30_J-3	6	モニタリング期間

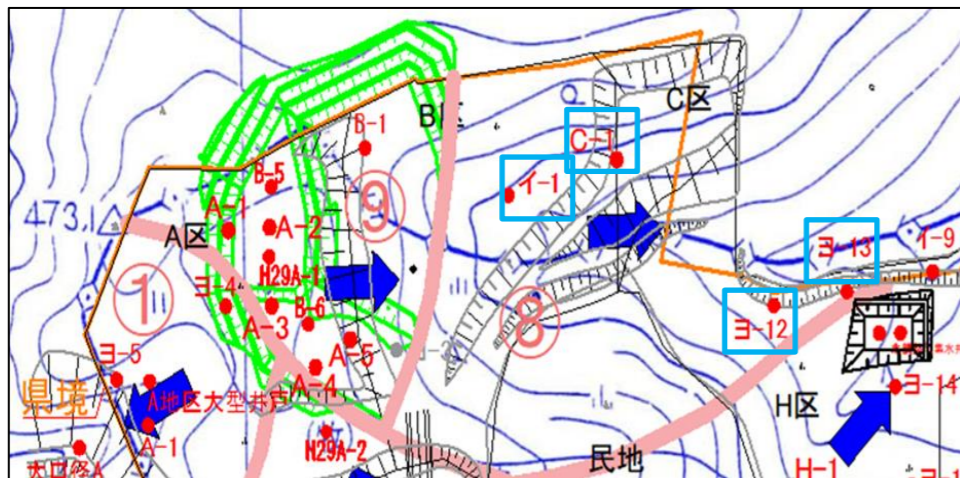


凡例（区域①～⑨において共通）

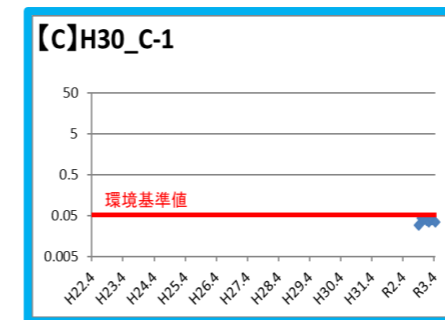
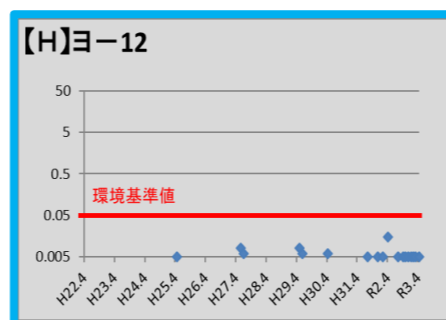
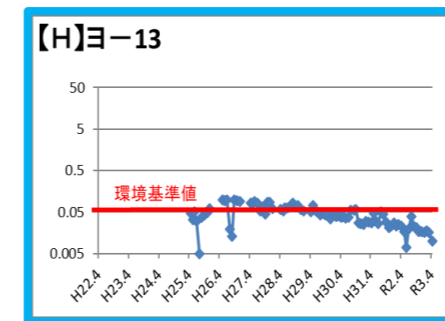
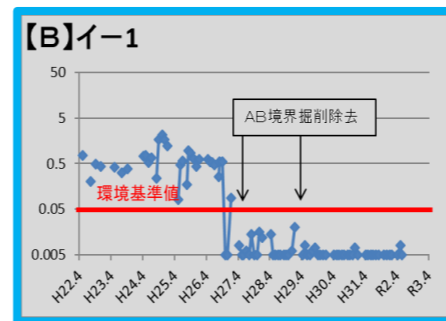
- : A 環境基準超過
- : B 浄化継続期間
- : C モニタリング期間
- : D 浄化終了
- : 分水嶺を元にした区域の境界
- ← : 地下水流向



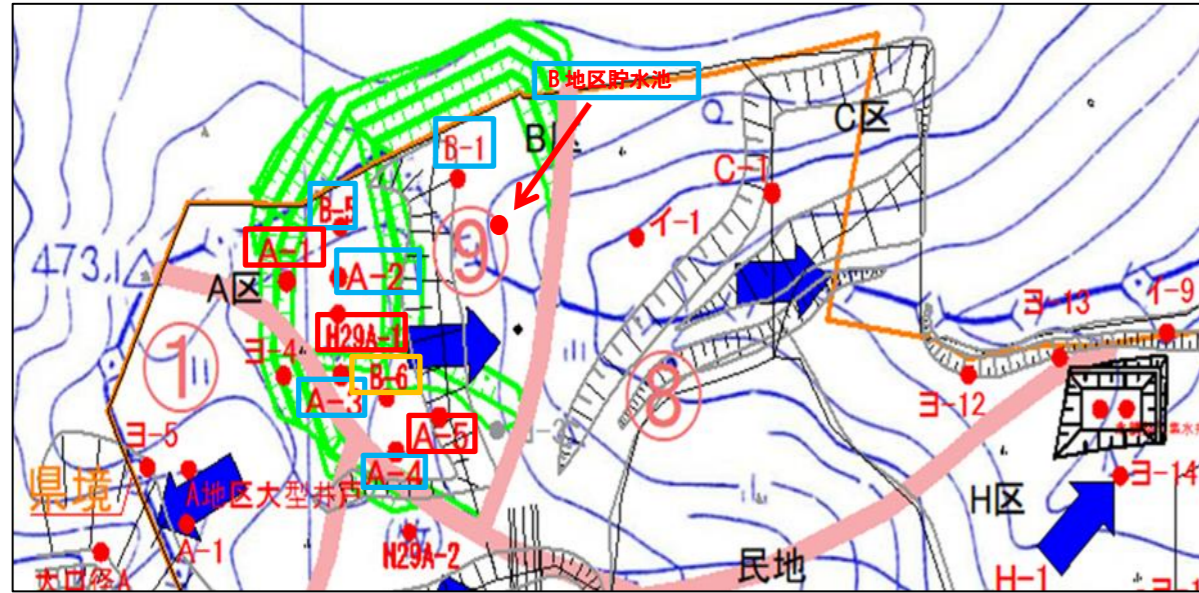
地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
F	7	イ-3(ヨ-10)	0.013	0.026	0.003	-	-	0.003	0.018	0.005	0.006	0.029	0.028	0.022	0.022	0.003	0.003	-	-	0.003	イ-3(ヨ-10)	7	モニタリング期間
G	7	イ-4	0.005	0.003	0.003	-	-	0.005	0.006	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	イ-4	7	浄化終了相当
H	7	イ-9	0.025	0.024	0.025	0.024	-	0.025	0.023	0.032	0.030	0.026	0.024	0.022	0.023	0.019	0.021	-	-	0.019	イ-9	7	モニタリング期間
G	7	ヨ-11	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-11	7	浄化終了相当
H	7	ヨ-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.005	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-14	7	浄化終了相当
H	7	ヨ-15	0.049	0.021	0.056	0.025	0.014	0.003	0.050	0.005	0.003	0.003	0.037	0.046	0.068	0.072	0.079	0.096	0.010	0.018	ヨ-15	7	対策検出中
H	7	北調整池集水井(東)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.011	-	0.011	0.010	0.009	0.016	0.019	0.006	0.011	北調整池集水井(東)	7	浄化終了相当
H	7	北調整池集水井(西)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.010	-	0.008	0.011	0.011	0.017	0.015	0.009	0.010	北調整池集水井(西)	7	浄化終了相当
F	7	H30_F-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H30_F-1	7	モニタリング期間
F	7	H30_F-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.016	0.003	H30_F-3	7	モニタリング期間
H	7	H30_H-1	0.10	-	0.10	0.10	0.094	0.098	0.077	0.090	0.097	0.003	0.005	0.006	0.006	0.006	0.014	0.026	0.022	0.025	H30_H-1	7	モニタリング期間
I	7	H30_I-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.009	0.007	0.003	0.007	0.009	0.009	0.009	H30_I-1	7	モニタリング期間
I	7	H30_I-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.019	0.018	0.020	0.022	0.025	0.020	0.015	H30_I-2	7	モニタリング期間



- 凡例（区域①～⑨において共通）
- : A 環境基準超過
  - : B 浄化継続期間
  - : C モニタリング期間
  - : D 浄化終了
  - : 分水嶺を元にした区域の境界
  - ← : 地下水流向

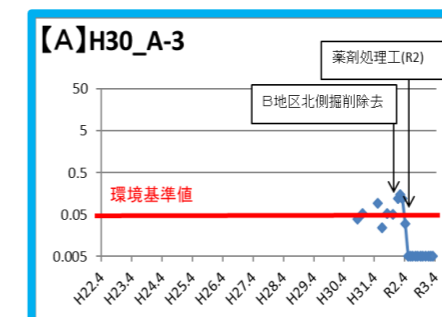
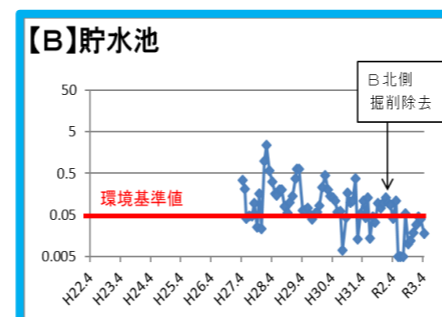
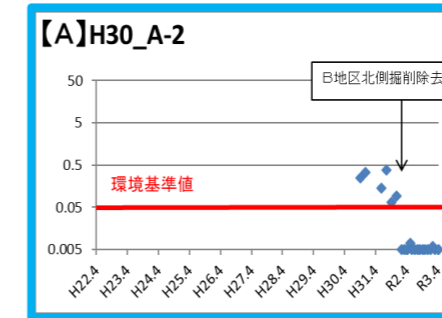
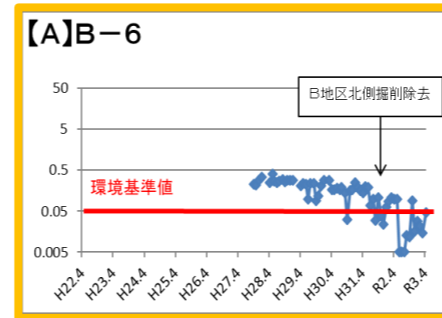
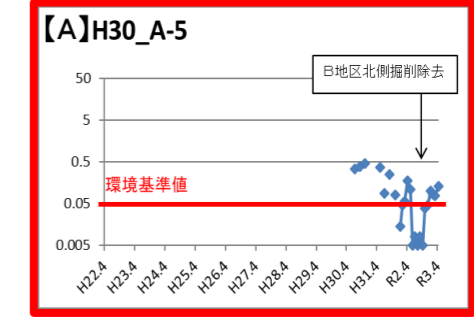
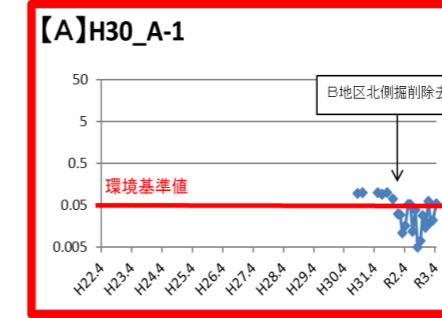
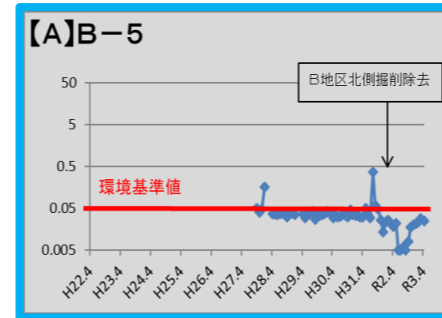
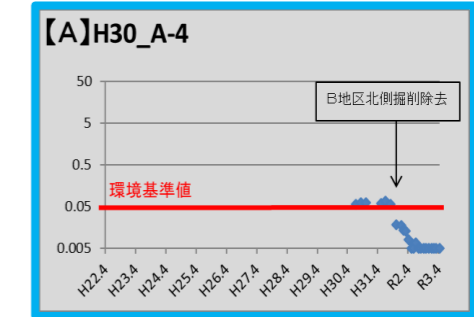
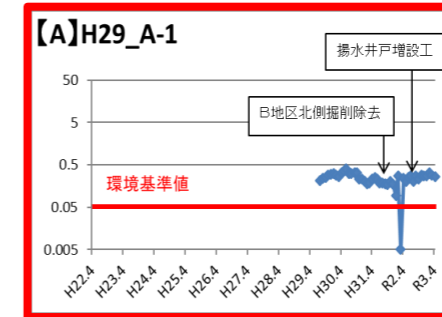
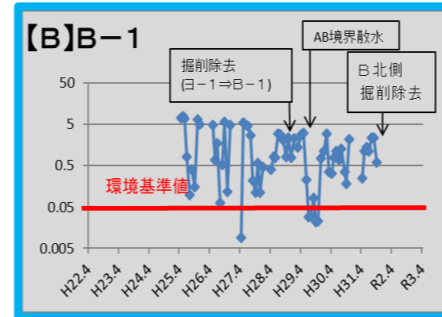


地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
B	8	イ-1	0.005	0.003	0.003	0.003	-	0.003	0.008	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	イ-1	8	浄化終了相当
H	8	ヨ-12	-	0.003	-	0.005	-	0.015	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-12	8	浄化終了相当
H	8	ヨ-13	0.021	0.023	0.027	0.023	0.025	0.023	0.017	0.007	0.019	0.039	0.023	0.021	0.017	0.017	0.016	0.018	0.016	0.010	ヨ-13	8	モニタリング期間
C	8	H30_C-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.029	0.043	0.040	0.038	0.035	0.040	0.035	H30_C-1	8	モニタリング期間



凡例 (区域①～⑨において共通)

- : A 環境基準超過
- : B 浄化継続期間
- : C モニタリング期間
- : D 浄化終了
- : 分水嶺を元にした区域の境界
- ← : 地下水流向



地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
B	9	B-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B-1	9	浄化終了相当
A	9	B-5	0.026	0.014	0.024	0.026	0.023	0.019	0.022	0.005	0.003	0.006	0.005	0.008	0.018	0.020	0.022	0.024	0.029	0.025	B-5	9	浄化終了相当
A	9	B-6	0.039	0.024	0.063	0.086	0.11	0.10	0.10	0.003	0.003	0.003	0.013	0.012	0.092	0.016	0.029	0.022	0.015	0.046	B-6	9	浄化継続期間
B	9	B地区貯水池	0.072	0.095	0.13	0.10	0.089	0.041	0.11	0.003	0.003	0.005	0.053	0.010	0.012	0.019	0.029	0.046	0.039	0.018	B地区貯水池	9	モニタリング期間
A	9	H29_A-1	0.20	0.18	0.095	0.27	0.003	0.24	0.20	0.25	0.27	0.20	0.28	0.23	0.29	0.28	0.27	0.32	0.29	0.26	H29_A-1	9	薬剤処理
A	9	H30_A-1	0.069	-	0.031	0.030	0.011	0.016	0.053	0.052	0.012	0.039	0.003	0.007	0.028	0.015	0.062	0.020	0.022	0.055	H30_A-1	9	対策検討中
A	9	H30_A-2	0.093	-	0.005	0.003	0.003	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.003	0.003	0.006	H30_A-2	9	モニタリング期間
A	9	H30_A-3	0.051	-	0.12	0.15	0.12	0.030	0.056	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H30_A-3	9	モニタリング期間
A	9	H30_A-5	0.081	-	0.014	0.046	0.057	0.18	0.11	0.003	0.008	0.005	0.008	0.005	0.039	0.045	0.10	0.083	0.078	0.13	H30_A-5	9	対策検討中(薬剤処理)
A	9	H30_A-4	0.019	-	0.018	0.014	0.013	0.008	0.005	0.003	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005	0.003	0.003	0.005	H30_A-4	9	浄化終了相当



各井戸の1,4-ジオキサン濃度推移(単位:mg/L)

参考資料2

地区名	区域	井戸名	2019/11	2019/12	2020/1	2020/2	2020/3	2020/4	2020/5	2020/6	2020/7	2020/8	2020/9	2020/10	2020/11	2020/12	2021/1	2021/2	2021/3	2021/4	井戸名	区域	ステップ(R3.4時点)
F	7	イ-3(ヨ-10)	0.013	0.026	0.003	-	-	0.003	0.018	0.005	0.006	0.029	0.028	0.022	0.022	0.003	0.003	-	-	0.003	イ-3(ヨ-10)	7	モニタリング期間
G	7	イ-4	0.005	0.003	0.003	-	-	0.005	0.006	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	-	-	0.003	イ-4	7	浄化終了相当	
H	7	イ-9	0.025	0.024	0.025	0.024	-	0.025	0.023	0.032	0.030	0.026	0.024	0.022	0.023	0.019	0.021	-	-	0.019	イ-9	7	モニタリング期間
G	7	ヨ-11	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-11	7	浄化終了相当	
H	7	ヨ-14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.005	0.003	0.003	0.003	ヨ-14	7	浄化終了相当	
H	7	ヨ-15	0.049	0.021	0.056	0.025	0.014	0.003	0.050	0.005	0.003	0.003	0.037	0.046	0.068	0.072	0.079	0.096	0.010	0.018	ヨ-15	7	対策検討中
H	7	北調整池集水井(東)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.011	-	0.011	0.010	0.009	0.016	0.019	0.006	0.011	北調整池集水井(東)	7	浄化終了相当
H	7	北調整池集水井(西)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.010	-	0.008	0.011	0.011	0.017	0.015	0.009	0.010	北調整池集水井(西)	7	浄化終了相当
F	7	H30_F-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H30_F-1	7	モニタリング期間
F	7	H30_F-3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.016	0.003	H30_F-3	7	モニタリング期間
H	7	H30_H-1	0.10	-	0.10	0.10	0.094	0.098	0.077	0.090	0.097	0.003	0.005	0.006	0.006	0.006	0.014	0.026	0.022	0.025	H30_H-1	7	モニタリング期間
I	7	H30_I-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.009	0.007	0.003	0.007	0.009	0.009	0.009	H30_I-1	7	モニタリング期間
I	7	H30_I-2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.019	0.018	0.020	0.022	0.025	0.020	0.015	H30_I-2	7	モニタリング期間
B	8	イ-1	0.005	0.003	0.003	0.003	-	0.003	0.008	0.003	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	イ-1	8	浄化終了相当
H	8	ヨ-12	-	0.003	-	0.005	-	0.015	-	-	-	0.003	-	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	ヨ-12	8	浄化終了相当
H	8	ヨ-13	0.021	0.023	0.027	0.023	0.025	0.023	0.017	0.007	0.019	0.039	0.023	0.021	0.017	0.017	0.016	0.018	0.016	0.010	ヨ-13	8	モニタリング期間
C	8	H30_C-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.029	0.043	0.040	0.038	0.035	0.040	0.035	H30_C-1	8	モニタリング期間
B	9	B-1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B-1	9	浄化終了相当
A	9	B-5	0.026	0.014	0.024	0.026	0.023	0.019	0.022	0.005	0.003	0.006	0.005	0.008	0.018	0.020	0.022	0.024	0.029	0.025	B-5	9	浄化終了相当
A	9	B-6	0.039	0.024	0.063	0.086	0.11	0.10	0.10	0.003	0.003	0.003	0.013	0.012	0.092	0.016	0.029	0.022	0.015	0.046	B-6	9	浄化継続期間
B	9	B地区貯水池	0.072	0.095	0.13	0.10	0.089	0.041	0.11	0.003	0.003	0.005	0.053	0.010	0.012	0.019	0.029	0.046	0.039	0.018	B地区貯水池	9	モニタリング期間
A	9	H29_A-1	0.20	0.18	0.095	0.27	0.003	0.24	0.20	0.25	0.27	0.20	0.28	0.23	0.29	0.28	0.27	0.32	0.29	0.26	H29_A-1	9	薬剤処理
A	9	H30_A-1	0.069	-	0.031	0.030	0.011	0.016	0.053	0.052	0.012	0.039	0.003	0.007	0.028	0.015	0.062	0.020	0.022	0.055	H30_A-1	9	対策検討中
A	9	H30_A-2	0.093	-	0.005	0.003	0.003	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.006	0.003	0.003	0.006	H30_A-2	9	モニタリング期間
A	9	H30_A-3	0.051	-	0.12	0.15	0.12	0.030	0.056	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	H30_A-3	9	モニタリング期間
A	9	H30_A-5	0.081	-	0.014	0.046	0.057	0.18	0.11	0.003	0.008	0.005	0.008	0.005	0.039	0.045	0.10	0.083	0.078	0.13	H30_A-5	9	対策検討中(薬剤処理)
A	9	H30_A-4	0.019	-	0.018	0.014	0.013	0.008	0.005	0.003	0.007	0.003	0.003	0.003	0.003	0.003	0.005	0.003	0.003	0.005	H30_A-4	9	浄化終了相当

環境基準超過 : 浄化継続期間 : モニタリング期間 : 浄化終了相当

## 青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会設置要領

## (設置)

第1条 青森県との県境付近に発生した産業廃棄物不法投棄事案に係る現場の原状回復を進めるにあたって、広く県民等に不法投棄廃棄物や汚染土壌の撤去及び原位置浄化対策の内容等を情報公開するとともに、二戸市民等関係者の合意形成を図り、もって適正かつ円滑な事業の推進に資するため、青森・岩手県境不法投棄現場の原状回復対策協議会（以下「協議会」という。）を置く。

## (所掌)

第2条 協議会の所掌事項は、次のとおりとする。

- (1) 原状回復に向けた事業の安全性の評価をすること。
- (2) モニタリング計画の立案及びモニタリング結果の評価をすること。
- (3) 廃棄物撤去後の土壌等の汚染レベルの評価をすること。
- (4) 環境再生のあり方を調査・協議すること。
- (5) 不測の事態が発生した場合の対応策を調査・協議すること。（ただし、協議会を招集する時間的余裕が無い場合等においては、岩手県が実施した対応策等について速やかに事後報告を受け、その対応策等の評価をすること。）
- (6) その他現場の原状回復を図るために必要な事項を調査・協議すること。

## (組織)

第3条 協議会は、委員をもって組織し、委員は次に掲げる者のうちから岩手県環境生活部長（以下「部長」という。）が委嘱する。

- (1) 二戸市に居住する者
- (2) 青森県田子町に居住する者
- (3) 二戸市職員
- (4) 青森県田子町職員
- (5) 学識経験者

2 委員の任期は2年とする。ただし、欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、前任者の残余期間とする。

3 部長が指定する者について、オブザーバーとして協議会への出席を依頼することがある。

## (委員長及び副委員長)

第4条 協議会に委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長は、委員の互選による。
- 3 副委員長は、委員長が選任する。
- 4 委員長は会務を総理し、会議の議長となる。
- 5 副委員長は委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代理する。

## (会議)

第5条 協議会は、委員長が招集する。

2 協議会は、委員の3分の2以上の出席がなければ開くことができないものとする。



- 3 協議会の議事は、出席委員の全員一致で決することを原則とする。
- 4 議事について審議を続行しても、その可否について全員一致で決する見込みがないと議長が認めたときは、前項の規定にかかわらず、議事は出席者の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 5 協議会は公開とし、岩手県情報公開条例（平成 11 年 12 月 17 日岩手県条例第 61 号）の規定に基づき、会議録等を開示する。

（代理出席）

第 5 条の 2 委員のうち、第 3 条第 1 項第 3 号及び第 4 号による者（以下「市町委員」という。）並びに部長が指定する団体に属する者は、本人が出席できない場合に限り、あらかじめ指名する者（市町委員にあつては、部長が指定する職の者に限る。）を代理出席させることができる。

（意見の聴取）

第 6 条 協議会は、委員の求めに応じ、委員以外の学識経験者若しくは専門家等の出席を求め、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第 7 条 協議会の庶務は、岩手県環境生活部廃棄物特別対策室において処理する。

（雑則）

第 8 条 この要領に定めるもののほか、協議会の運営に関して必要な事項は別に定める。

## 附 則

（施行期日）

- 1 この要領は、平成 15 年 7 月 15 日から施行する。  
（委員の任期の特例）
- 2 第 3 条第 2 項の規定にかかわらず、協議会設立時に就任する委員の任期は、平成 17 年 3 月 31 日までとする。
- 3 この要領は、平成 16 年 7 月 1 日から施行する。
- 4 この要領は、平成 17 年 4 月 1 日から施行する。
- 5 この要領は、平成 24 年 4 月 1 日から施行する。